

マニュアルの使いかた

本製品には次のマニュアルが用意されています。

● 安心してお使いいただくために

- パソコンをお使いになるときに守っていただきたいこと

● 基本編…パソコンがはじめての人も、そうでない人も

- パソコンを使えるようにするまで（Windowsのセットアップ）
- パソコン操作の基本
- 文字の入力
- パソコン本体の機能

● インターネット編…インターネット、メールの世界へ

- インターネットへ接続する方法
- インターネットを楽しむ（ブラウザの使いかた）
- メールを使う
- インターネット、メールに関するQ&A

● 活用編…もっといろいろなことができる

- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- 周辺機器を使うとき
- システム構成の変更やパスワード

● 困ったときは…わからなくなったら

- よくある質問とその解決方法
- パソコンを購入時の状態に戻す（再セットアップ）

● オンラインマニュアル

- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- こんなことがしたい
- 困ったときは
- パソコン用語集

*本製品の電源を入れたときに見ることができます。

マニュアルは、本製品の使いかたについてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのあるかたも、必ずお読みください。お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート]メニュー - [はじめに] - [リリース情報] をクリックするとご覧になります。



《本書》

もくじ

マニュアルの使いかた	1
もくじ	2
はじめに	6
表記について	12
パソコンの準備	14
1. パソコンの置き場所	14
2. 電源につなぐ	16
初めてパソコンを使うとき	18
1. 電源を入れる	18
2. Windows のセットアップ	18
3. ユーザ登録をする	27
4. 電源を切る	29
基本操作を覚える	30
マウスを取り付ける	31

1 章 電源を入れる／切る

1 電源を入れる	34
2 電源を切る	36
3 作業を中断する	37
4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき	40

2 章 パソコンをさわってみよう

1 デスクトップとは	42
2 ウィンドウを開く	43
3 ファイルやフォルダを作る	44
4 ファイルやフォルダをコピーする	50
5 ファイルやフォルダを削除する	52

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

3章 文字を入力してみよう

- 1 メモ帳を開く 58
- 2 キーボードについて 59
- 3 文字を入力する 60
 - 1. 日本語入力システムについて 60
 - 2. 入力モードを決める 62
 - 3. ひらがなを入力する 67
 - 4. ひらがなを漢字に変換する 68
 - 5. カタカナを入力する 69
 - 6. 記号を入力する 70
 - 7. 英数字を入力する 71
 - 8. 入力がうまくできないとき 72
- 4 文書を保存する 82

4章 音楽を楽しもう

- 1 音楽を聴く 86
 - 1. はじめる前に 86
 - 2. 音楽CD / 音楽ファイルを再生する 88

5章 パソコンのしくみ

- 1 ハードウェアとは 92
 - 1. 記憶装置 92
 - 2. 表示装置 93
 - 3. 入力装置 94
- 2 ソフトウェアとは 95
 - 1. OS (オペレーティングシステム) 95
 - 2. アプリケーション 95

6章 本体の機能を知ろう

1	各部の名前	98
	1. 本書で説明しているところ	98
	2. 『活用編』で説明しているところ	100
2	インジケータ	101
3	キーボード	104
4	ディスプレイ	110
5	ハードディスクドライブ	111
6	サウンド機能	112
	1. スピーカの音量を調整する	112
	2. 音楽／音声の録音レベルを調整する	114
	3. システムスピーカについて	114
7	バッテリー	115
	1. バッテリー充電量を確認する	117
	2. バッテリーを充電する	118
	3. バッテリーパックを交換する	120
8	フロッピーディスク	122
	1. フロッピーディスク	122
	2. フロッピーディスクのセットと取り出し	123
	3. フロッピーディスクを使う前に	124
9	CD	126
	1. CD	127
	2. CDのセットと取り出し	128
10	インターネットボタンとメールボタン	131
11	日常の取り扱いとお手入れ	133

7章 ローマ字入力一覧表

1	ローマ字入力一覧表	140
	さくいん	142

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

はじめに

このたびは、^{ダイナブック}DynaBookをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。
本書は本製品の基本的な取り扱いかたをできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

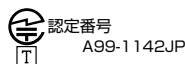


 省電力設定について ▶ 『活用編 1章 2- 東芝省電力ユーティリティ』

■ モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により
電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定
を受けたものです。



● 使用できない国、地域

内蔵モデムは、次の国、地域で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の国、地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない国、地域では、その国、地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

● 自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

*内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

■ 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なお使いを心がけていただきますよう、お願いいたします。



お願い

- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる国にあわせて設定が必要です。



参照 詳細について

- ▶ 『活用編 1章 2-内蔵モデム用国選択ユーティリティ』

FCC information

Product name : DynaBook Satellite 2740 series
Model number : PS274*

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or serial port, external monitor port, PS/2 mouse port, parallel port, USB port and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697
Telephone : (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity
 EU Übereinstimmungserklärung
 Déclaration de conformité UE
 Declaración de conformidad de la UE
 Dichiarazione di conformità UE
 EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PS274* conforms to the following Standards:

Toshiba erklärt, daß das Produkt: PS274* folgenden Normen entspricht:

Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PS274* est conforme aux normes suivantes:

Toshiba declaran que el producto: PS274* cumple los siguientes estándares:

Toshiba dichiara, che il prodotto: PS274*, é conforme alle seguenti norme:

Toshiba intygar att produkten: PS274* överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”

Weitere Informationen: “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”

Informations complémentaires: “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”

Información complementaria: “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”

Ulteriori informazioni: “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”

Ytterligare information: “Produkten uppfyller kraven enligt lägspanningsdirektiv 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E* 安全にお使いいただくために

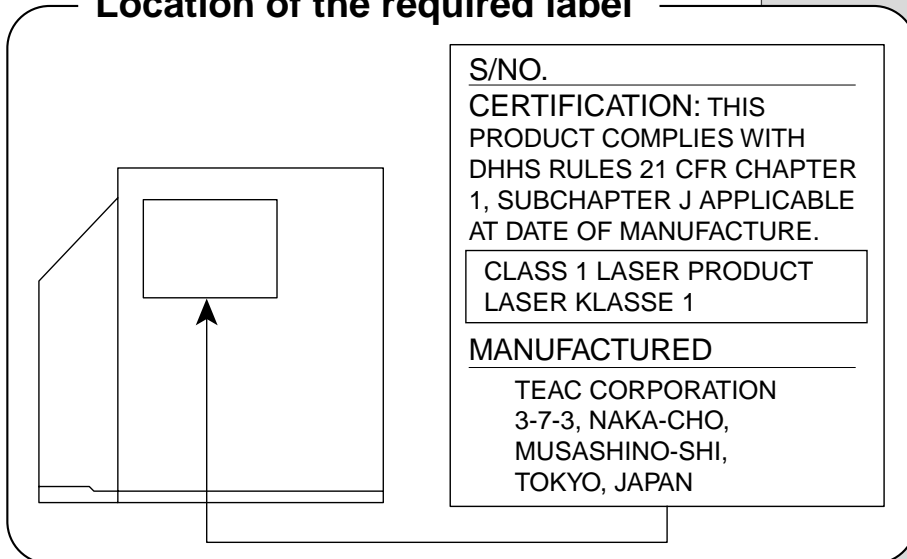
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で
“クラス 1 レーザ機器” に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 EN60825-1:94

Location of the required label



Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ SmartMedia、スマートメディアは（株）東芝の商標です。
- ・ PS/2 は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ SoundBlaster は、合衆国やその他の国における Creative の登録商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- ・ ジャストホーム、ATOK は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

表記について

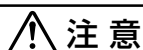
本製品のマニュアルは、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



・知っておくと便利なことを説明しています。



用語

・覚えておくと役に立つ用語を説明しています。



この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照先》

(注) 補足説明をしています。

画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = x x x x KB

—このように画面または本文中の文字を×で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキー

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Ⓨキーを押す→ を押してください。

①キーを押す→ を押してください。

Ⓢ(Space)キーを押す→ (スペースキー) を押してください。

操作の表現

操作や作業は、次のように示します。

【例】

●操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Ⓨキーを押す

●キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

ⓕ(Fn) + ⓕ(F2)キーを押す

この場合は、ⓕ(Fn)キーを押したままⓕ(F2)キーを押します。

用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME2000 を示します。

ATOK ATOK 12 を示します。

ジャストホームモデル

..... ジャストホーム i がプレインストールされているモデルを示します。

Office モデル Microsoft® Office 2000 と Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic がプレインストールされているモデルを示します。

パソコンの準備

1. パソコンの置き場所

⚠ 警告

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

パソコンを置く環境をととのえることによって、お使いになる人の疲れを少なくすることができます。また、本製品をより長い間お使いいただけます。ここでは、安全に、より快適に本製品をお使いいただく環境について説明します。



- ・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。



設置する環境

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
- パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
- 換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する
- インターネットに接続する場合は、電話線接続口の近くに置く

使うときの姿勢

- キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりも膝が少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- 膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。

健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 長時間画面を見続けられないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
- 一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。

2. 電源につなぐ

⚠ 警告

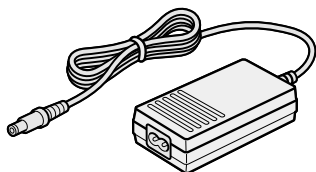
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・海外で使用する場合は、別途電源コードをお買い求めください。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。
本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。

■ AC アダプタ

パソコン本体に電源を供給する機器です。電源コネクタに接続します。

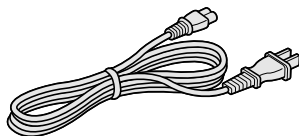


仕様は次のとおりです。

入力	AC100V~240V、0.75A~0.35A、50/60Hz
出力	15V、4A

■ 電源コード

電源コンセントから、AC アダプタに電源を供給するケーブルです。



AC アダプタに接続します。

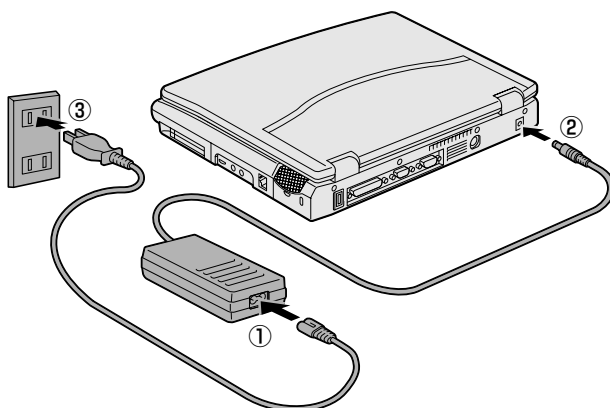
国内向け (100V) の仕様ですので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。




お願い

- ・ AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

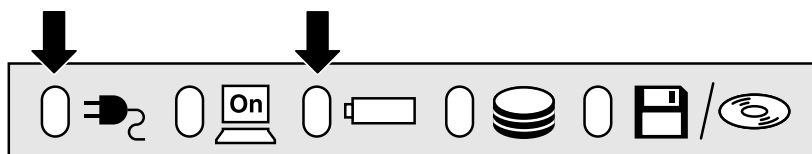
パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。



電源コードを接続したら、DC IN  LEDが緑色に点灯するのを確認してください。

また、Battery  LEDはオレンジ色に点灯し、バッテリー充電中であることを表します。

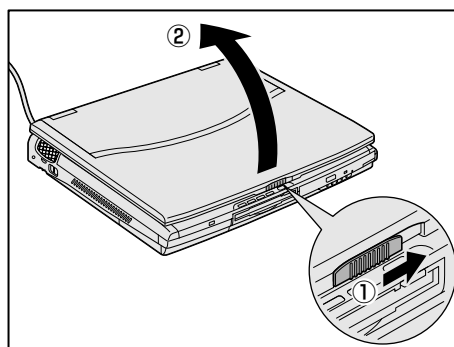
 Battery  LED ▶ 「6章 7 バッテリー」



電源コードが接続できたら、ディスプレイを開きます。

ディスプレイ開閉ラッチをスライドします。①

両手を使って、ディスプレイをゆっくりに起こしてください。②



用語

・LED

電流を流すと発光する、発光ダイオード (Light Emitting Diode) のこと。

本製品では、装置の動作状況を表すインジケータを指す。

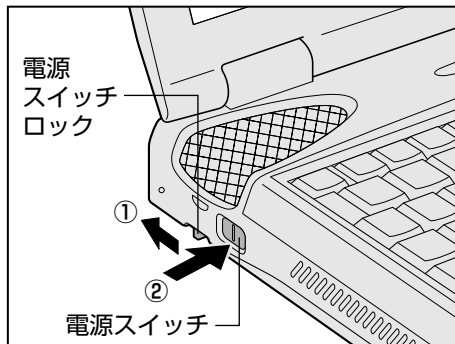
初めてパソコンを使うとき

1. 電源を入れる

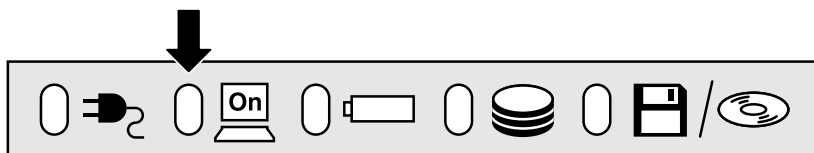
初めて電源を入れるときには、次の手順で行なってください。

1 電源スイッチロックを解除する①

2 電源スイッチを押す②



次のLEDの点灯を確認してください。




2. Windows のセットアップ

パソコンの電源を初めて入れたときには、Windowsウィンドウズが使えるようにするために「Windows セットアップ」という操作が必要です。

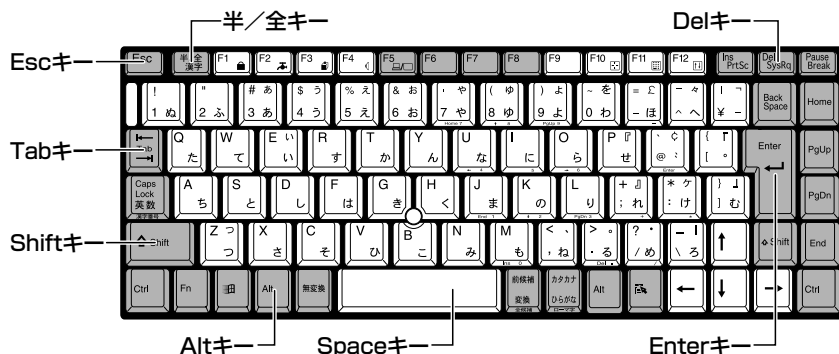
1度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにパソコンを使うことができます。また、カスタム・リカバリCDでシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

「Windows セットアップ」は、周辺機器は取りはずし、ACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行なってください。


 カスタム・リカバリCDについて ▶『困ったときは2章 再セットアップ』
セットアップには、キーボード、アキュポイントII、コントロールボタンの操作が必要です。



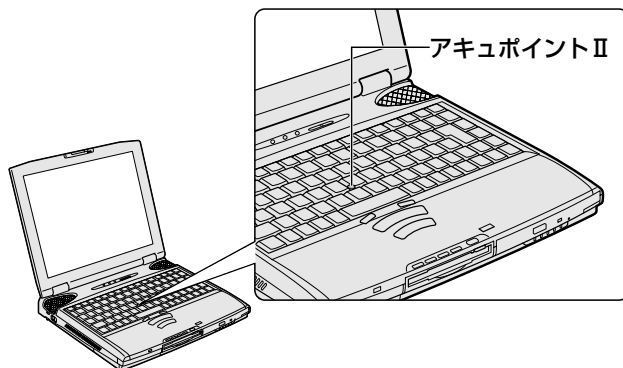
・お使いになるWindowsプロダクトキーの管理番号を、「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft社からの保守が受けられなくなります。




■ アクュポイントⅡの使いかた

画面上にある矢印マーク  をマウスポインタといいます。

マウスポインタは、アクュポイントⅡで動かします。アクュポイントⅡに指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

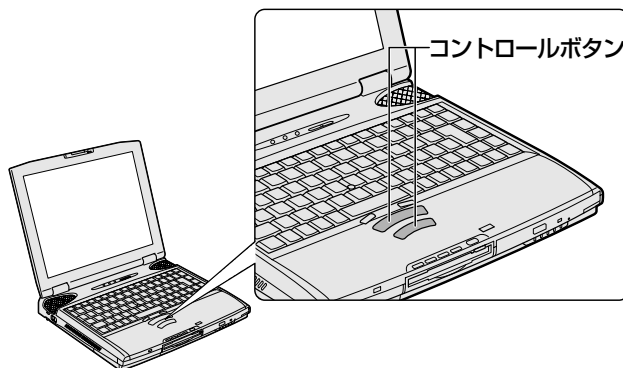



 アクュポイントⅡの詳しい使いかた

▶ 「基本操作を覚える アクュポイントⅡとコントロールボタン」

■ クリック

マウスポインタを、画面上の選択したい項目にあわせ、コントロールボタンの上ボタンを1回押すことをクリックといいます。よく使う操作なので、覚えてください。

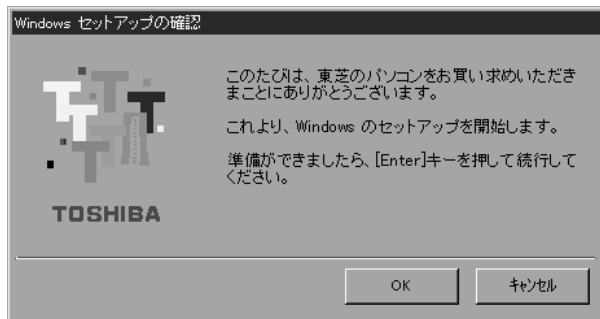


 コントロールボタンの詳しい使いかた

▶ 「基本操作を覚える アクュポイントⅡとコントロールボタン」

次の手順に従って、セットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、[Windowsセットアップの確認] 画面が表示されます。



1 (Enter)キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

2 ユーザー名を入力する

(Shift)+(Tab)キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

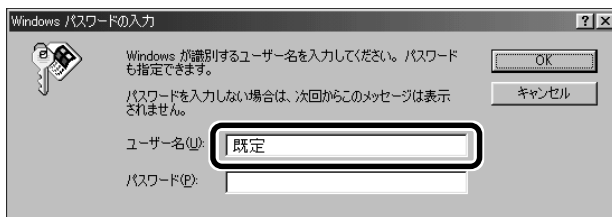
(Del)キーを押して「既定」を削除してください。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。

Officeモデルの場合は、(半/全)キーを押してください。

ジャストホームモデルの場合は、(Alt)キーを押したまま、(半/全)キーを押してください。



●ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

 [ローマ字入力について](#) ▶ 「7章 1 ローマ字入力一覧表」

【例】“なかた”または“中田”と入力する場合

1 (N)(A)(K)(A)(T)(A) とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、(BackSpace)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter)キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は(Space)キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter)キーを押す

(Space)キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。(Enter)キーを押すと、選択した漢字で確定します。



お願い

・[Windowsセットアップ]中は、電源を切らないでください。

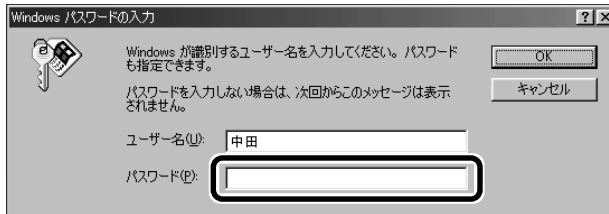




メモ

・[Windowsセットアップ]を行う前に、30分以上アキュポイントIIやキーを動かさなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。再度表示するには、(Shift)キーを押すか、アキュポイントIIを動かしてください。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**(Tab)**キーを押します。
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。



使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全角文字（2バイト文字） ・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・ 単独のキーで入力できない（入力するときに(Shift)キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、 ~（チルダ） など ・ ￥（エン） キーやキーを押すと￥が入力されます。 	

入力したパスワードは「****」で表示されます。
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**(BackSpace)**キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。
[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう1度入力し直してください。

●登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Del]キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift]キーと [Tab]キーを同時に押す
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Del]キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab]キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、[F1] キーを押してください。メニューが表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

5 [次へ] ボタンをクリックする



[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

6 [省略] ボタンをクリックする

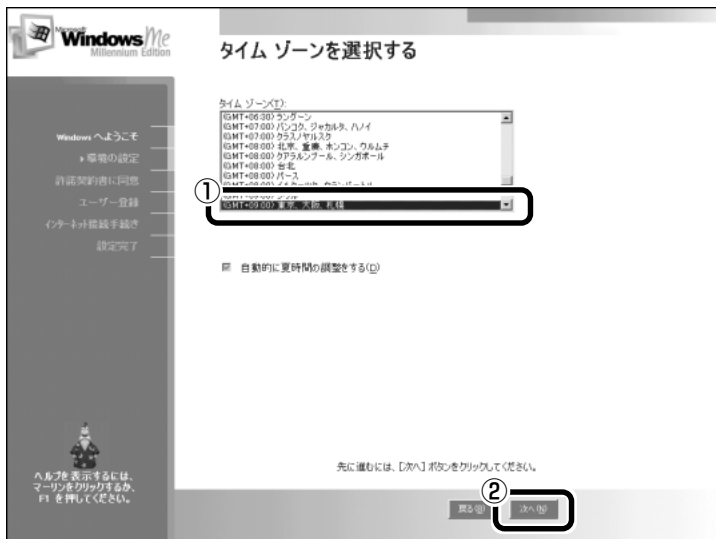


日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

ここでは、日本語入力の練習は省略します。

7 [タイムゾーン] で [(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていることを確認して①、[次へ] ボタンをクリックする②



[(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていない場合は、▼ ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意] 画面が表示されます。

契約内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲▼ ボタンをクリックするか、(PgUp)キー、(PgDn)キーを使って画面を動かしてください。

8 画面の【同意します】をチェック（左側の○印をクリック）して①、【次へ】ボタンをクリックする②



契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。
[登録先：Microsoft] 画面が表示されます。

9 画面の【いいえ、今は登録しません】をチェック（左側の○印をクリック）して①、【次へ】ボタンをクリックする②



オンライン登録には、インターネット（モデム）への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。
[AOLに入会して今すぐインターネットをはじめよう。] 画面が表示されます。ご購入のモデルによっては、[設定が完了しました] 画面が表示されます。その場合は、手順 11 へ進んでください。

10 [次へ] ボタンをクリックする



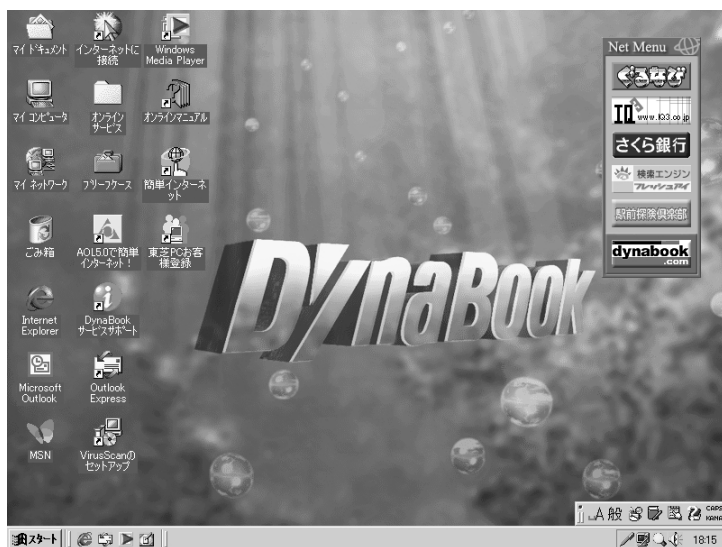
「設定が完了しました」画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする



(表示例)

Windowsのセットアップが終了し、デスクトップ画面が表示されます。



(表示例)

 デスクトップについて ▶ 「2章 1 デスクトップとは」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、「2章 パソコンをさわってみよう」、または同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。


3. ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝とMicrosoft社のユーザ登録を行なってください。今後のサービス・サポートが受けられます。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 インターネットへの接続

▶『インターネット編 1章 2 インターネットに接続する』

インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

■ インターネットで登録する

本製品の一部のモデルでは、インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

- ① [スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックする
- ② 表示されるメッセージを確認し、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ 表示される画面に従って登録を行う

[インターネットプロバイダと未契約の方] を選択した場合：

インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方] を選択した場合：

インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由で登録を希望しない方] を選択した場合：

はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

■ すでに他のプロバイダに入会している場合


インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

Microsoft社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 インターネットへの接続

●『インターネット編 1章 2 インターネットに接続する』

- ① [スタート] - [ヘルプ] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- ② [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- ③ [アプリケーションの登録] をクリックする
- ④ [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- ⑤ 右画面の [ここをクリック] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ⑥ 表示される画面に従って登録を行う

4. 電源を切る

Windowsのセットアップが終わったら、すぐにパソコンをお使いになれますが、ひとまずWindowsを終了して電源を切ってみましょう。

画面左下の「スタート」ボタンから行います。

1 画面左下にある「スタート」ボタンをクリックする



(表示例)

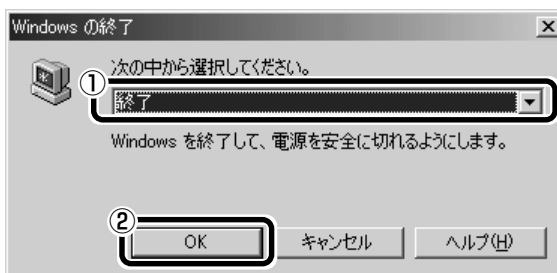
2 「Windows の終了」をクリックする



(表示例)

「Windows の終了」画面が表示されます。

3 「終了」が選択されていることを確認し①、「OK」ボタンをクリックする②



画面が暗くなり、パソコン本体のPower LEDが消えます。

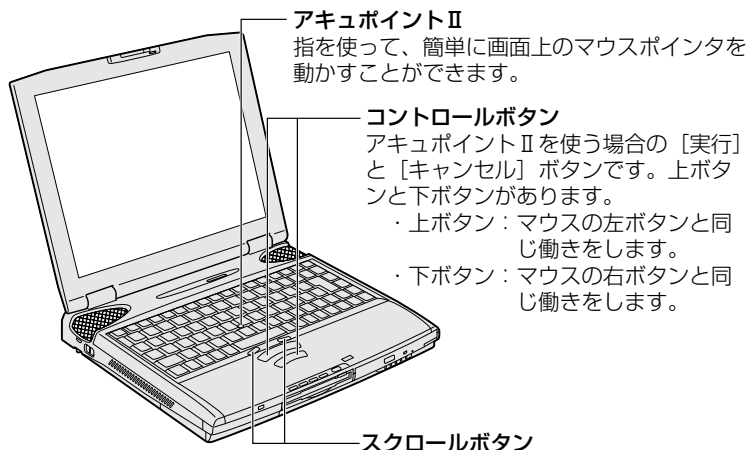
Power LEDが消えると、電源が切れたこととなります。

次に電源を入れるときには、Windowsセットアップは必要ありません。


電源を入れる ▶ 「1章 1 電源を入れる」

基本操作を覚える


ここでは、画面上での操作について説明します。



アクュポイントIIとコントロールボタン

画面上にあるマウスポインタ () は、アクュポイントIIで動かします。アクュポイントIIに指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

マウスポインタは、同梱されているマウスを接続して動かすこともできます。

 マウスについて ▶ 「マウスを取り付ける マウスの使いかた」

マウスポインタを画面上の項目にあわせ、コントロールボタンで選択します。コントロールボタンでは、次の操作ができます。

クリック	コントロールボタンの上ボタンを1回押します。
ダブルクリック	コントロールボタンの上ボタンを2回連続して、「カチカチ」とすばやく押します。アプリケーションの起動などができます。
ドラッグアンドドロップ	コントロールボタンの上ボタンを押したまま、アクュポイントIIでマウスポインタを動かします。画面上のアイコンなどがマウスポインタと一緒に移動します (ドラッグ)。目的の場所でボタンから指を離すと、移動中の項目がそこに配置されます (ドロップ)。
右クリック	コントロールボタンの下ボタンを1回押します。メニューが表示されます。ここでは、マウスを使うときの呼びかたと同じ「右クリック」とします。

スクロールボタン

画面上では表示しきれない部分を、スクロールして見ることができます。

画面上で見えない部分があったとき、左右どちらかのボタンを押すと、画面の表示が移動して隠れていた部分が表示されます。



・何かが起動してしまった場合は、「2章 2 ウィンドウを開く」をご覧ください。




・次の場合、アクュポイントIIを操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。
・電源を入れたとき
・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき
この場合は、マウスポインタが動かなくなるまで待つてから、アクュポイントIIを使用してください。



・付属の PS/2 マウス以外では、PS/2 マウスの仕様によって、設定をしてもアクュポイントIIと PS/2 マウスを同時に使用できない場合があります。この場合は、PS/2 マウスだけの使用に設定してください。



 同時使用の設定

● 『活用編 1 章 2- 東芝 HWセットアップ』

マウスを取り付ける

本製品に同梱されている PS/2 マウスを、パソコン本体の PS/2 コネクタに接続して使用することができます。

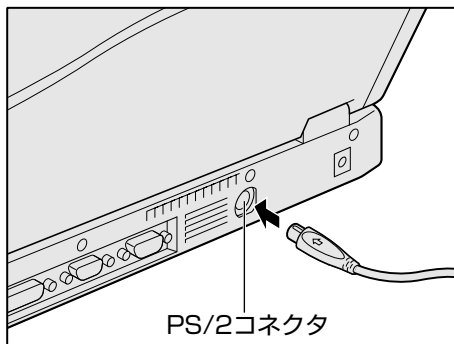
⚠ 注意

- ・ PS/2 マウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

取り付け

1 PS/2 コネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む

接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



お願い

- ・ PS / 2 マウスの接続は、Windows のセットアップが終了した後に行なってください。

取りはずし

1 パソコン本体に差し込んである PS/2 マウスのプラグを持って抜く

マウスの使いかた

本製品に同梱されているマウスは、アキュポイントIIとコントロールボタンの組み合わせと同じ働きをします。

左ボタン

文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ホイール

画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

右ボタン

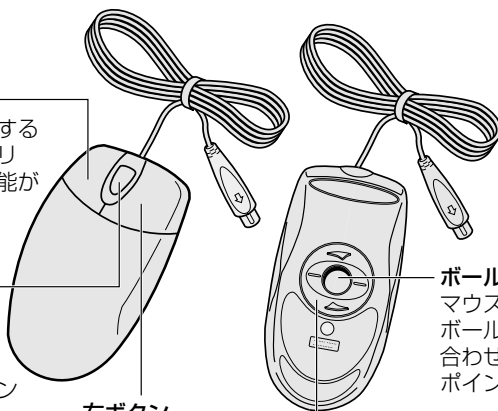
操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーなどを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

ボール固定用フタ

ボールがとび出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。



動かしかた

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向にあわせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてください。マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。

クリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを1回押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ダブルクリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを、すばやく2回続けて押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ドラッグアンドドロップ	マウスのボタンを押したまま、マウスポインタを移動します（ドラッグ）。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。ホイールを回すと画面がスクロールします。

■ お願い

- マウスは平らな机の上などで使用してください。ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。



マウスボタンやホイールの機能の割り当て、左利きのかたがお使いになるときに、左右のボタンの役割を替える場合などは、Windowsの[マウスのプロパティ]で変更することができます。[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックし、[マウス]（表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック）をダブルクリック。

1 章

電源を入れる／切る

パソコンの電源を入れる／切る
いろいろな方法について説明します。

1	電源を入れる	34
2	電源を切る	36
3	作業を中断する	37
4	簡単に電源を切る ／作業を中断するとき	40

1

電源を入れる

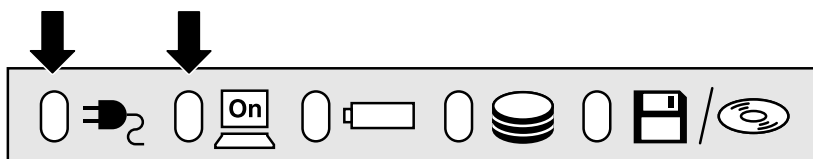
⚠ 注意

・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。


ここでは、Windowsのセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

電源に関する表示


次の図で矢印の付いているものが、電源に関する表示です。



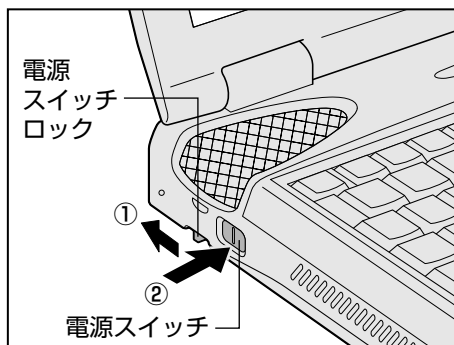
それぞれの意味は次のとおりです。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点灯	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

操作手順


- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認する
- 2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 3 電源スイッチロックを解除し①、Power  LEDが点灯するまで、電源スイッチを押す②

Power  LEDが緑色に点灯します。




その後、Windowsの起動画面が表示されます。

スタンバイ機能を実行していた場合、または休止状態にしていた場合は、実行する直前の状態が再現されます。

 **参照** スタンバイ機能、休止状態について

▶ 「本章 3 作業を中断する」

パネルスイッチ機能を設定していた場合、ディスプレイを開けると、自動的に電源が入ります。

 **参照** パネルスイッチ機能について

▶ 「本章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」

4 電源スイッチロックを有効（右側）にする

操作中に誤って電源スイッチを押してしまわないように、電源スイッチロックを必ず有効にしておいてください。


パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。

■ パスワードを設定している場合


パスワードを設定している場合は、電源を入れた直後に次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

 **参照** パスワードについて ▶ 『活用編 1 章 2- 東芝 HW セットアップ』
『活用編 4 章 3 パスワードについて』

■ メッセージが表示される場合

 **参照** 不明なメッセージについて

▶ 『困ったときは 1 章 2-9 不明なメッセージが出た！』



・パスワードの入力ミス
を3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。

⚠ 注意

- ・ Disk LED または FDD/CD-ROM LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンやCD-ROMドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。
- ・ ディスプレイを閉じる場合は、静かに閉じてください。ディスプレイを強く閉じると、衝撃でパソコン本体が故障するおそれがあります。

Windowsを終了すると、パソコン本体の電源が切れます。必ず手順に従って電源を切ってください。

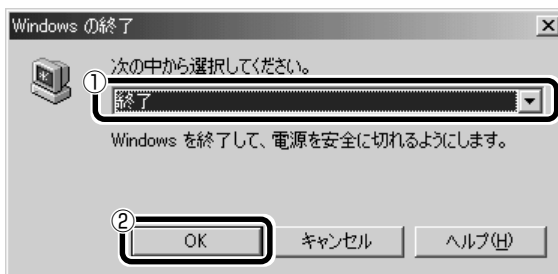
周辺機器の電源は、パソコン本体の電源を切った後に切ってください。

作業を中断したときの状態をいったん保存して、またすぐに使う場合は、スタンバイ機能を実行、または休止状態にすることができます。




 スタンバイ機能、休止状態について ▶ 「本章 3 作業を中断する」

1 データを保存し、アプリケーションを終了する**2** [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする

(表示例)

3 [終了] が選択されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②

⚠ 注意

- ・本製品の「スタンバイ中」とは、電源がオンの状態で表示画面をオフにし、CPUおよび他のデバイスが休止している状態です。この状態のとき、バッテリーや増設メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- ・休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。メモリ内容の書き込み中は、Disk  LEDが点灯します。Disk  LED、およびPower  LED点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスクドライブが壊れるおそれがあります。


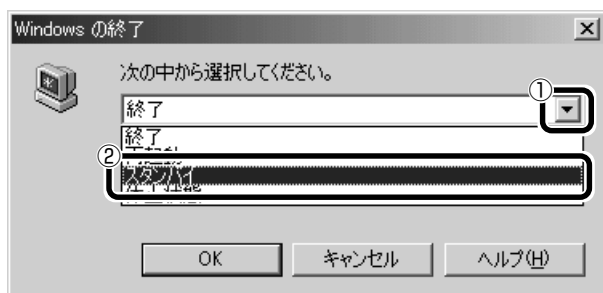
スタンバイ機能を実行したり、休止状態にすると、中断した作業の続きをすぐに再開することができます。

スタンバイ機能

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を再現することができます。

スタンバイ機能を実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイ機能を実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

1 [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする

2  ボタンをクリックし①、[スタンバイ] を選択する②

3 [OK] ボタンをクリックする

メモリへの保存が終わると、画面がまっ暗になります。

4 Power  LEDがオレンジ点灯しているか確認する

- ・スタンバイ機能または休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

休止状態

作業を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入ると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

1 休止状態を有効に設定する

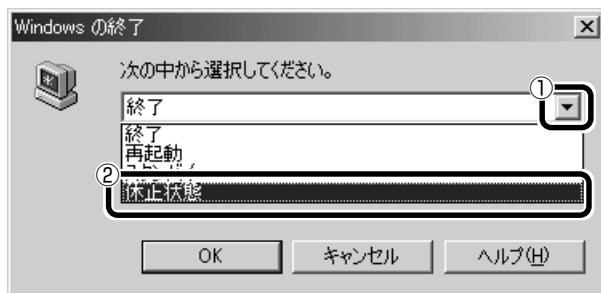
- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (☑)

休止状態が有効になります。

2 [スタート] ① - [Windows の終了] ② をクリックする




3 ▼ ボタンをクリックし①、[休止状態] を選択する②



4 [OK] ボタンをクリックする

[スタート] メニューから以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときにもスタンバイ機能を実行したり、休止状態にすることができます。その場合は、設定が必要です。

 設定について ▶ 「本章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」



・ 休止状態にするときは、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LED が点灯しますので、LED の点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。



・ [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

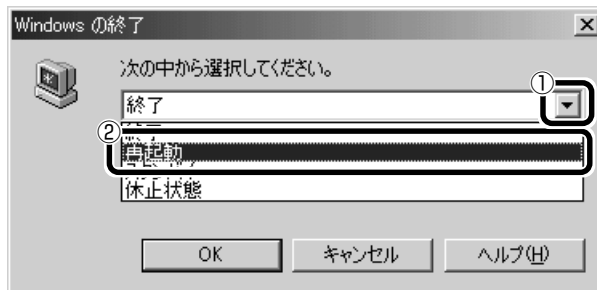
再起動

いったんWindowsを終了した後、すぐにもう1度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

1 [スタート] ① - [Windowsの終了] ②をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[再起動] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

〔スタート〕メニューから電源を切る、または作業を中断する以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときに、シャットダウン、スタンバイ機能の実行、または休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- ① 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 をクリックする
- ② 〔東芝省電力〕 アイコンをダブルクリックする
- ③ 〔休止状態〕 タブで 〔休止状態をサポートする〕 をチェックする ()

休止状態が有効になります。

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ① 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 をクリックする
- ② 〔東芝省電力〕 アイコンをダブルクリックする
- ③ 〔電源設定〕 タブで設定する省電力モードを選択し、〔詳細〕 ボタンをクリックする
- ④ 〔動作〕 タブの 〔電源ボタンを押したとき〕 で 〔スタンバイ〕 〔休止状態〕 〔電源オフ〕 のいずれかを選択する
- ⑤ 〔OK〕 ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると電源を切る、または作業を中断することを、パネルスイッチ機能といいます。

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- ① 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 をクリックする
- ② 〔東芝省電力〕 アイコンをダブルクリックする
- ③ 〔休止状態〕 タブで 〔休止状態をサポートする〕 をチェックする ()

休止状態が有効になります。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

- ① 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 をクリックする
- ② 〔東芝省電力〕 アイコンをダブルクリックする
- ③ 〔電源設定〕 タブで設定する省電力モードを選択し、〔詳細〕 ボタンをクリックする
- ④ 〔動作〕 タブの 〔コンピュータを閉じたとき〕 で 〔スタンバイ〕 〔休止状態〕 〔電源オフ〕 のいずれかを選択する
- ⑤ 〔OK〕 ボタンをクリックする

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

手順 1 の④で 〔スタンバイ〕 または 〔休止状態〕 を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に電源が入ります。



- ・ 〔コントロールパネル〕 画面に 〔東芝省電力〕 アイコンが表示されていない場合は、画面左の 〔すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。〕 をクリックしてください。
- ・ (Fn)+(F3) キーを使用して、電源スイッチを押したときの動作を切り換えることもできます。



詳細について

- ▶ 「6章 3-(Fn)キーを使った特殊機能キー」



- ・ 〔コントロールパネル〕 画面に 〔東芝省電力〕 アイコンが表示されていない場合は、画面左の 〔すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。〕 をクリックしてください。
- ・ 手順 1 の④で 〔何もしない〕 を選択すると、パネルスイッチ機能は動きません。

2章

パソコンをさわってみよう

Windowsの基本操作について説明します。
はじめてWindowsをお使いになるかたはお読みください。

- 1 デスクトップとは 42
- 2 ウィンドウを開く 43
- 3 ファイルやフォルダを作る 44
- 4 ファイルやフォルダをコピーする 50
- 5 ファイルやフォルダを削除する 52

1 デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体をデスクトップといいます。

デスクトップとは「机の上」のことで、画面全体を机、パソコンを使って動かすものを文房具などの道具にたとえた言いかたです。パソコンでも机の上のように、いろいろな道具を使って作業することができます。

ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

*画面は実際の表示と異なる場合があります。



アイコン
よく使うファイルが、絵のマークで表示されます。

マイドキュメント
自分で作った文書などを保存する場所です。

マイコンピュータ
お使いのパソコンの構成を知ることができます。

ごみ箱
いらなくなったファイルをいったんここに捨て、まとめて消去します。

タスクバー
現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。右端にはいろいろなアイコンが表示され、音量などの設定が手軽にできます。また、バッテリーの状態も確認できます。

クイック起動ボタン
通常はアイコンや [スタート] メニューから起動するものを、ボタンをクリックするだけで簡単に起動できます。

[スタート] ボタン
このボタンをクリックすると、[スタート] メニューが表示されます。マウスポインタでメニューの階層をたどってクリックすると、目的の操作を始めることができます。

日本語入力システムツールバー
日本語入力システムの機能を設定するボタンが表示されます。



・Windowsの使いかたについては、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『ヘルプとサポート』もご覧ください。

2 ウィンドウを開く


Windowsでは、一つ一つのデータや道具を窓のかたち（ウィンドウ）で開き、操作します。

「マイドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

1 デスクトップにある【マイドキュメント】アイコン（)にマウスポインタをあわせ、ダブルクリックする

【マイドキュメント】のウィンドウが開きます。

閉じるボタン——
ウィンドウを閉じます。

最大化ボタン（元のサイズに戻すボタン）——
ウィンドウを画面いっぱいに表示します。
最大化された状態のとき、同じ位置に出る元のサイズに戻すボタン（)をクリックすると、ウィンドウが元の大きさに戻ります

最小化ボタン——
ウィンドウをタスクバーにおさめます。
タスクバーのウィンドウ名をクリックすると、元に戻ります。

タイトルバー——
ウィンドウの名前が表示されます。
この部分にマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。


メニューバー——
それぞれのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。項目をクリックして、いろいろな指示を出すことができます。

ツールバー——
メニューバーのメニューの中で、よく使う指示がボタンで表示されます。

アドレスバー——
開いているウィンドウが、パソコンのどこにあるのかを表示します。

ステータスバー——
ウィンドウの状態などが表示されます。

ウィンドウ説明——
ウィンドウの名前やアイコンの内容説明が表示されます。

スクロールバー——
ウィンドウの大きさでは画面に表示しきれない部分があるときに表示されます。
バーをドラッグするか、矢印ボタン（)をクリックしてスクロールすることができます。

ウィンドウの境界線にマウスポインタをあわせると、矢印が（)の形に変わります。その状態でドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。

ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」と呼びます。

3

ファイルやフォルダを作る

パソコンのデータは、「ファイル」の単位で保存・整理します。

また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。

先ほど開いた「マイ ドキュメント」もフォルダです。

Windows は、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。

ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

フォルダを作る

[マイ ドキュメント] の中に、フォルダを作ってみましょう。


1 [マイ ドキュメント] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



メニューが表示されます。

2 マウスポインタを [新規作成] にあわせる



右端の  の右にメニューが表示されます。

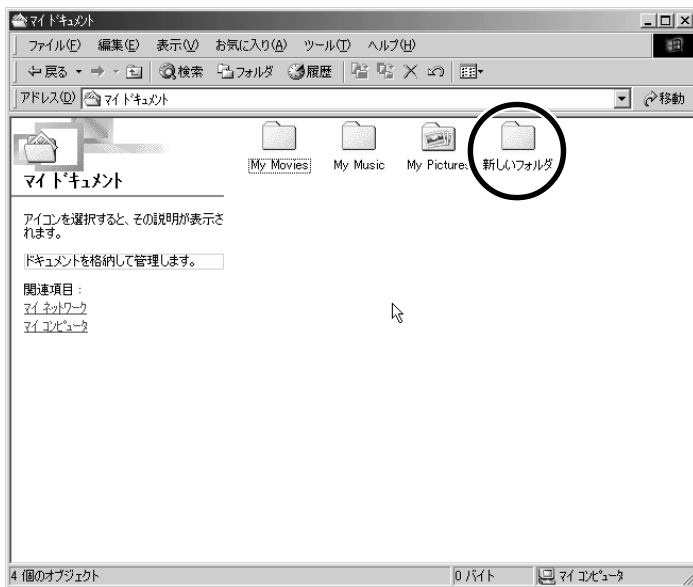
3 [フォルダ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[マイドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、[マイドキュメント] の中の何も無いところにマウスポインタを移動してクリックすると、フォルダ名がそのまま [新しいフォルダ] で確定されます。



これで、[マイドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] を作ることができました。

用語

・確定


文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力し直す。

ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。
ここでは、「テキスト文書」ファイルの作りかたについて説明します。

1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする

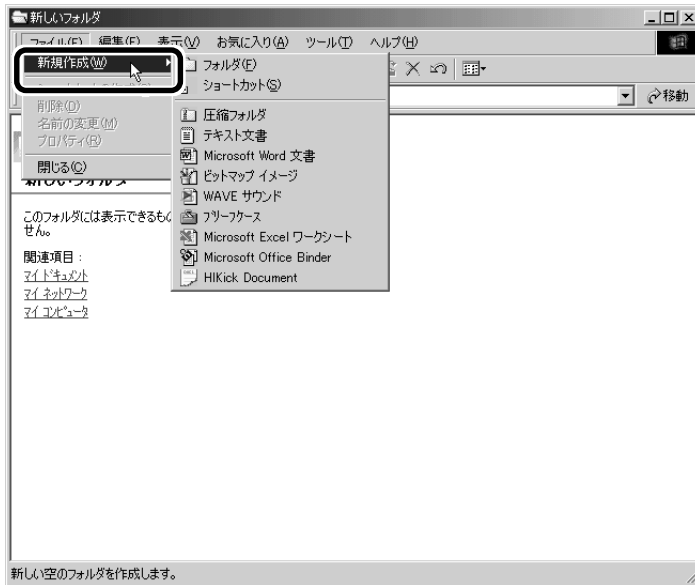
[マイ ドキュメント] 画面が消えて、[新しいフォルダ] 画面が開きます。
中にあるフォルダを開くと、上の階層のフォルダに重なり、上の階層のフォルダ画面は自動的に閉じます。上の階層のフォルダ画面をもう1度表示させる場合は、ツールバーの [上へ] ボタン () をクリックしてください。

2 [新しいフォルダ] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



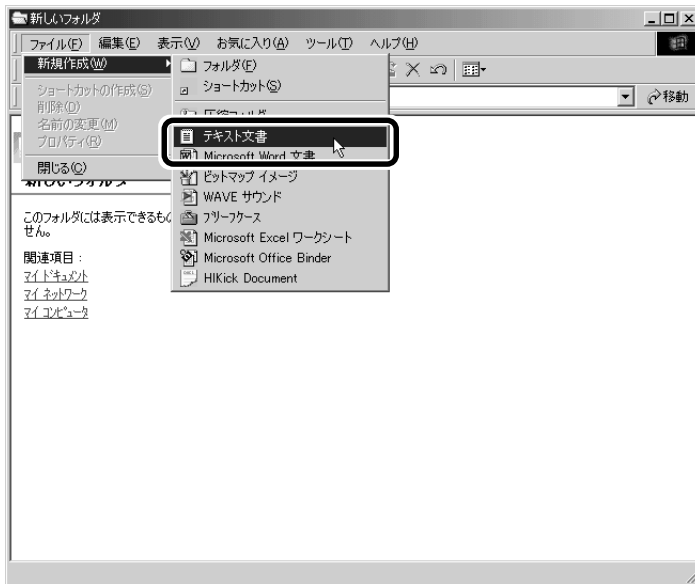
メニューが表示されます。

3 マウスポインタを [新規作成] にあわせる



右端の ▶ の右にメニューが表示されます。

4 [テキスト文書] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト文書] が作成されます。



ファイル名が反転表示されて確定していない場合は「新しいフォルダ」の中の何も無いところをクリックして、ファイル名をそのまま「新規テキスト文書」で確定してください。

これで、「新しいフォルダ」の中に、「新規テキスト文書」ファイルを作ることができました。

フォルダやファイルに名前を付ける

フォルダやファイル名を反転表示させると、文字を入力して名前を付けることができます。

 文字の入力について ▶ 「3章 3 文字を入力する」

フォルダやファイル名は、次の手順で反転表示できます。

1 フォルダやファイルのアイコンをクリックして選択する

2 少し間をおいてアイコンのファイル名の部分をクリックする、またはメニューバーの【ファイル】 - 【名前の変更】をクリックする

フォルダやファイル名が反転表示されます。

ここでは、ファイルの名前は「新規テキスト文書」のままでかまいません。次に進んでください。

用語

・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

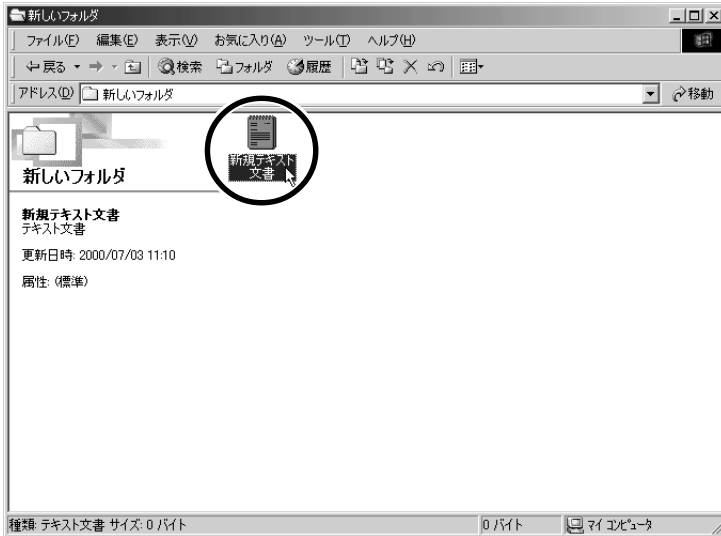
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力直す。

4

ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、簡単に複製を作る（コピーする）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ] の中に作った [新規テキスト文書] を [マイ ドキュメント] フォルダにコピーしてみましょう。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



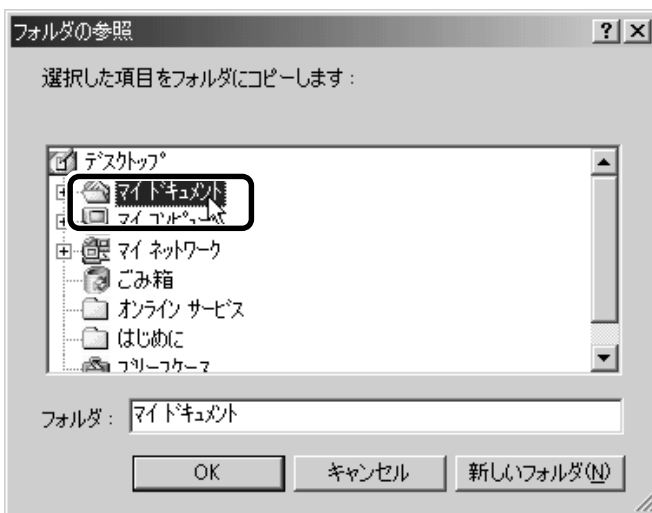
アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [コピー先] ボタン () をクリックする

[フォルダの参照] 画面が表示されます。


3 [フォルダ] 欄が [マイ ドキュメント] になっているか確認する

ほかの場所になっている場合は、上の一覧から [マイ ドキュメント] をクリックしてください。



4 [OK] ボタンをクリックする

これで [新規テキスト文書] をコピーすることができました。

[上へ] ボタン () をクリックすると、1つ上の階層にある [マイドキュメント] 画面が表示されます。

[新規テキスト文書] があることを確認してください。



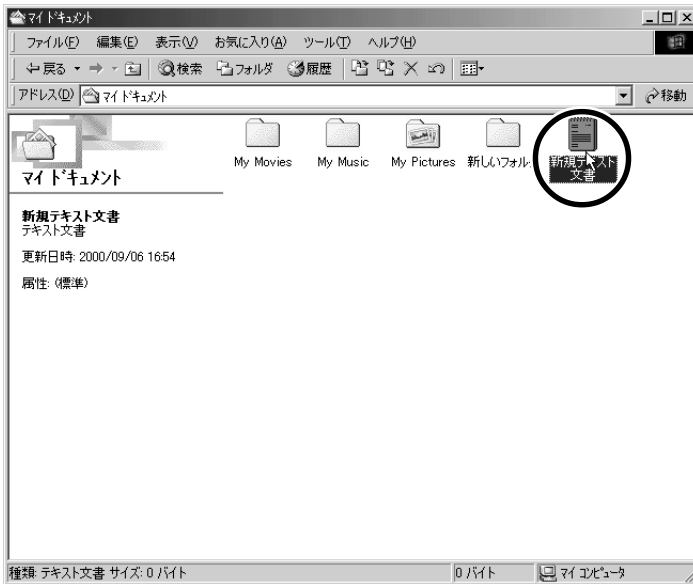
5

ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん [ごみ箱] フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまっても、[ごみ箱] フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

[マイ ドキュメント] にコピーした [新規テキスト文書] を削除してみましょう。

1 [マイ ドキュメント] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする

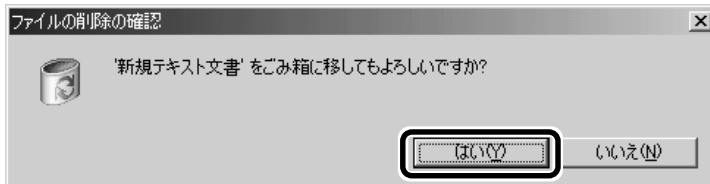


アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする

[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。

3 [はい] ボタンをクリックする



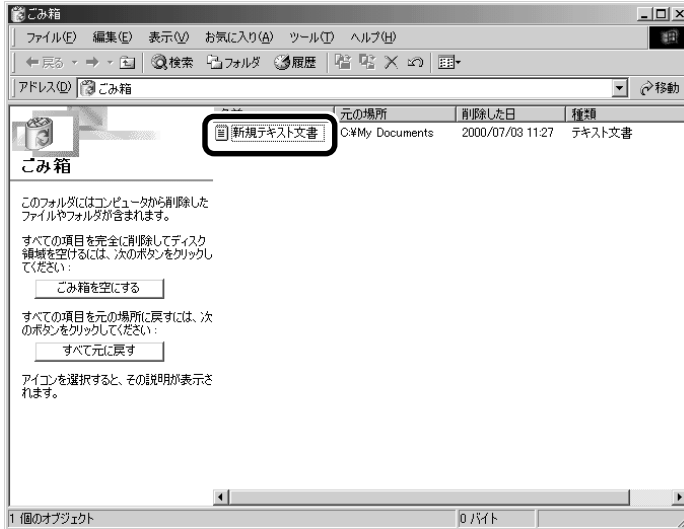
[マイ ドキュメント] フォルダから [新規テキスト文書] が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱] の中に移動しています。



・ [新しいフォルダ] 画面から [マイ ドキュメント] 画面に移動するには、ツールバーの [上へ] ボタンをクリックします。

4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン () をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト文書] が表示されます。



5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする

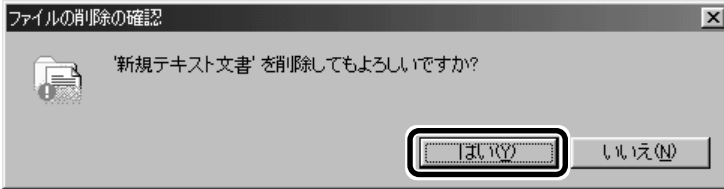


アイコンが反転表示されます。

6 ツールバーの【削除】ボタン (X) をクリックする

【ファイルの削除の確認】画面が表示されます。

7 【はい】ボタンをクリックする



【新規テキスト文書】が完全に削除されます。



・【ごみ箱】から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除してください。

■ まとめて削除する方法

〔ごみ箱〕画面でファイルやフォルダ名を選択せずに、〔ごみ箱を空にする〕ボタンをクリックした場合は、〔ごみ箱〕にあるファイルやフォルダすべてを削除することができます。



・〔ごみ箱〕から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除してください。

2章

パソコンをさわってみよう

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

〔ごみ箱〕にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

1 デスクトップの〔ごみ箱〕アイコン () をダブルクリックする

〔ごみ箱〕画面が開きます。



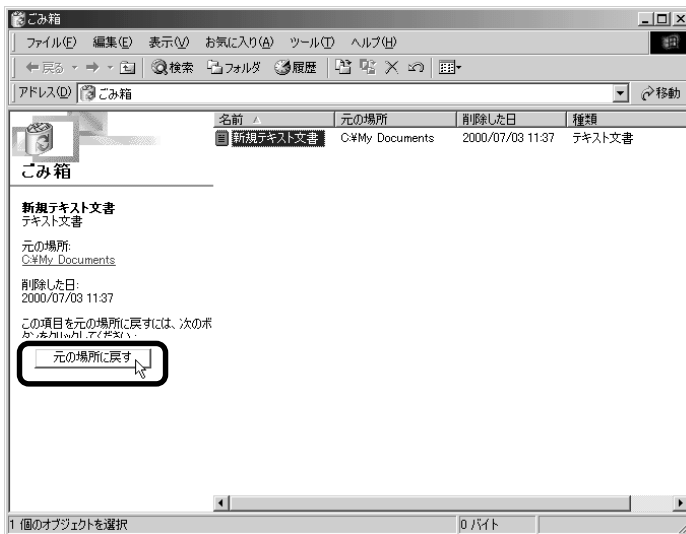
2 [ごみ箱] 画面で元に戻したいファイルやフォルダをクリックする

選択したファイルやフォルダが反転表示されます。



3 [元の場所に戻す] ボタンをクリックする

選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。



3章

文字を入力してみよう

キーボードで文字を入力し、
文書を作成する方法について説明します。

1	メモ帳を開く	58
2	キーボードについて	59
3	文字を入力する	60
4	文書を保存する	82

1

メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

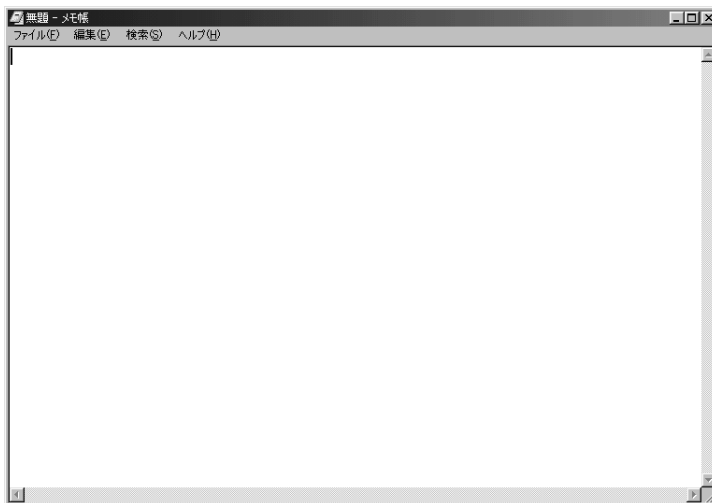
ここでは、Windowsに付属のアプリケーション「メモ帳」を使って「テキスト文書」を作成します。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [アクセサリ] - [メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



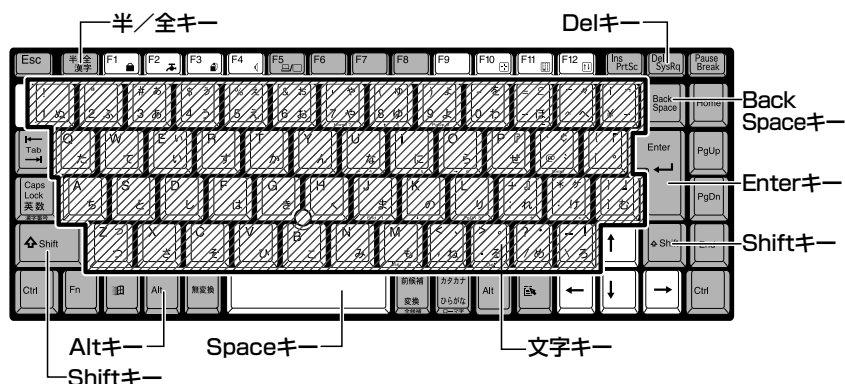
(表示例)

[無題 - メモ帳] 画面が開きます。



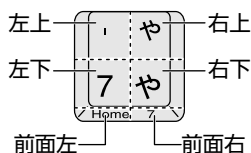
2

キーボードについて



文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。
文字キーに印刷されている2~6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。



■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

■ 右上

かな入力ができる状態で(Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音、拗音が入力できます。

■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。

■ 右下

かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

かな入力の設定 ▶ 「本章 3-2 入力モードを決める」

■ 前面左

アロー状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。

アロー状態 ▶ 「6章 2-Arrow Mode LED」

■ 前面右

数字ロック状態のときに押すと、テンキーとして使えます。

数字ロック状態 ▶ 「6章 2-Numeric Mode LED」

キーボードの詳しい使いかた ▶ 「6章 3 キーボード」

3章

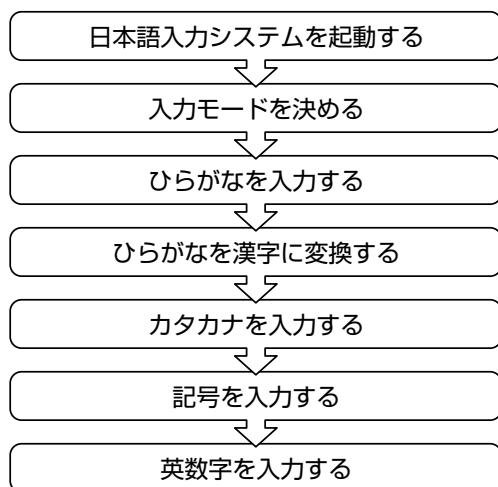
文字を入力してみよう



・「」(バックスラッシュ)を入力すると、「¥」と表示されます。かな入力状態のときに押すと、カタカナや記号が入力できます。

3 文字を入力する

ここでは、簡単な文を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。
次の流れに沿ってすすめていきます。



1. 日本語入力システムについて

本製品には、Microsoft社製の日本語入力システムMS-IME、またはジャストシステム社製の日本語入力システムATOKをご使用になれます。
使用できる日本語入力システムは、ご購入のモデルにより異なります。

Office モデル→MS-IME

ジャストホームモデル→ATOK、またはMS-IME

起動したときは、英数字入力ができるようになっています。日本語を入力できるようにするには、次の方法があります。

■ MS-IME の場合

日本語入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



- **半/全** キーを押す
- 入力モードボタンから選択する




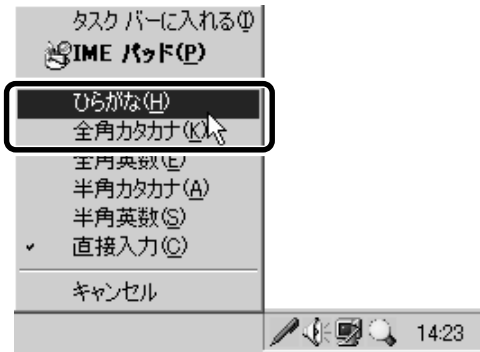
ここをクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする
選択したメニューには、チェックマークがつきます ()。

用語

・半角/全角

パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがある。
「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長 (例: A,ア)。
「全角」は半角を二つあわせてくらいの大きさ (例: A,ア)。
英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できるが、ひらがなと漢字は全角でのみ入力できる。

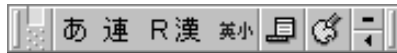
- タスクバーの  をクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする





(表示例)


■ ATOK の場合

日本語入力が行えるようになると、ATOK ツールバーは次のようになります。



- (Alt)+(半/全)キーを押す
- タスクバーの  をダブルクリックし、 にする
- ATOK ツールバーの緑色のインジケータをクリックする



- タスクバーの  をクリックし、メニューの「日本語入力オン」をクリックする



(表示例)

2. 入力モードを決める

入力モードによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりに入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

 ローマ字入力について ▶ 「7章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。

■ MS-IME の場合



くぼんで表示されます。

■ ATOK の場合



[カナ] が表示されます。

かな入力に設定を変更する場合は、次のどちらかの方法で設定してください。

キーボードで設定する

■ MS-IME の場合

1 (Alt)+(カタカナひらがな)キーを押す

パソコンを再起動すると、ローマ字入力に戻ります。


■ ATOK の場合

1 (カタカナひらがな)キーを押す

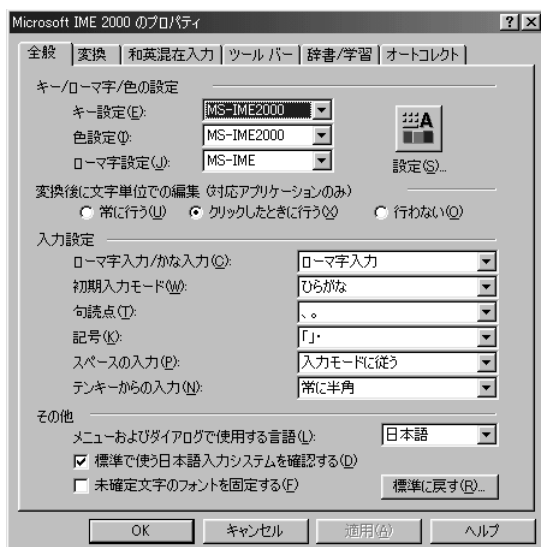

パソコンを再起動すると、ローマ字入力に戻ります。

画面上で設定する

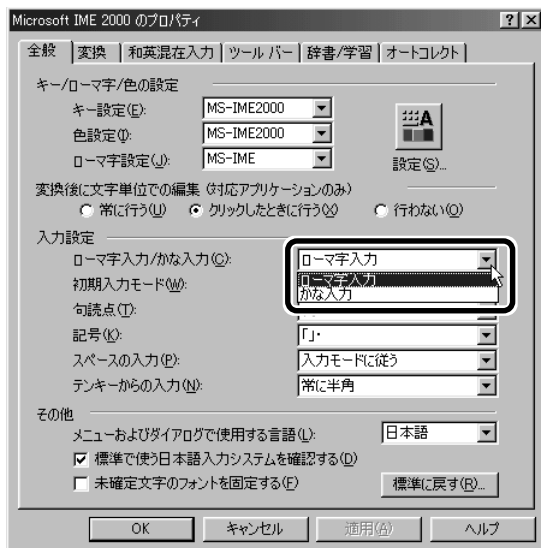
■ MS-IME の場合

1 MS-IME ツールバーのプロパティアイコン () をクリックする

[Microsoft IME のプロパティ] 画面が表示されます。

2 [全般] タブで、[入力設定] の [ローマ字入力/かな入力] ボックスの右にある  ボタンをクリックする

[ローマ字入力]、[かな入力] のメニューが表示されます。

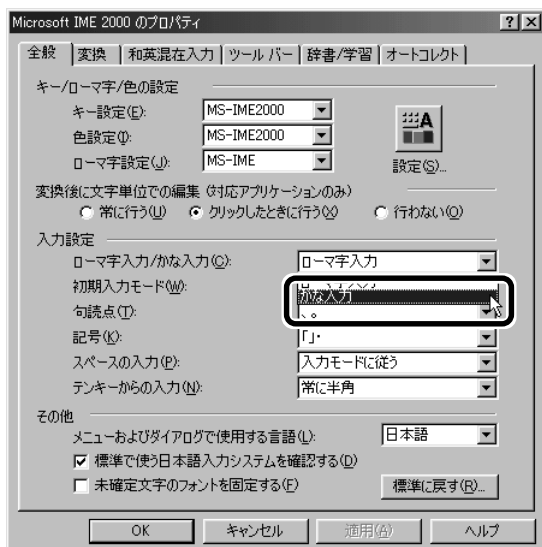


画面では [全般] タブが一番前に表示されています。表示されているタブが異なる場合は、上部のタブ名をクリックしてください。クリックしたタブが一番前に表示されます。

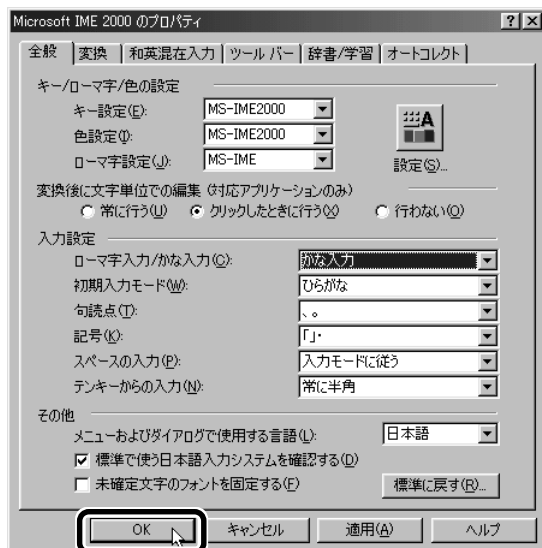
3章

文字を入力してみよう

3 [かな入力] をクリックする



4 [OK] ボタンをクリックする



■ ATOK の場合

- 1 ATOK ツールバーのプロパティアイコンをクリックし、[プロパティ] をクリックする



[ATOK プロパティ] 画面が表示されます。



- 2 [入力・変換 1] タブで、[漢字入力モード] の [R 漢/カナ漢] ボックスの右にある ▼ ボタンをクリックする

[R 漢]、[カナ漢] のメニューが表示されます。



3 章

文字を入力してみよう



画面では [入力・変換 1] タブが一番前に表示されています。表示されているタブが異なる場合は、上部のタブ名をクリックしてください。クリックしたタブが一番前に表示されます。

3 [カナ漢] をクリックする



4 [OK] ボタンをクリックする



続けて、文字を入力する練習をしてみましょう。



プロパティアイコンを右クリックし、[漢字入力モード] - [カナ漢字入力] をクリックして設定を変更することもできます。この場合、パソコンを再起動すると標準設定(ローマ字入力)に戻ります。

3. ひらがなを入力する

日本語入力システムを起動したら、「本章 1 メモ帳を開く」で起動した「無題 - メモ帳」画面に、ひらがなを入力してみましょう。

画面左の一番上の段に、カーソルというたての棒が点滅しています。ここから、文字入力ができます。

 ローマ字入力について ▶ 「7章 1 ローマ字入力一覧表」

* 入力画面例は MS-IME の場合です。ATOK では異なる場合があります。



それでは、次の文をつくります。

こんばんは
来週パーティーを開きます。
21日、7:00p.m.におこしください。
服部

「こんばんは」は、次のように入力します。

●ローマ字入力の場合

(K)(O)(N)(N)(B)(A)(N)(N)(H)(A)と、キーボードのキーを順に押す

●かな入力の場合

(こ)(ん)(は)(ろ)(ん)(は)と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

MS-IMEの場合、日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

ここでは、ひらがなで入力したら、(Enter)キーを押して確定してください。

MS-IMEの場合、文字の下線が消えます。ATOKの場合、文字の色が変わります。新しい文を次の行に入力するために、改行します。

(Enter)キーを押してください。カーソルが一段下の左端に移動します。

こんばんは
|

3章

文字を入力してみよう



・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、1度削除して入力し直す。

4. ひらがなを漢字に変換する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。
「らいしゅう」と入力し、(Space)キーを押します。

こんばんは
来週

目的の漢字ではない場合は、もう一度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



MS-IMEの場合、一覧から(Space)または(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

ATOKの場合、一覧から(Space)または(↑)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

こんばんは
来週



・「しゅ」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、
(S)(H)(U)または(S)(Y)(U)と
キーを押します。



ローマ字入力について

▶「7章 1 ローマ字
入力一覧表」

かな入力の場合は、(L)キー
を押した後、(Shift)キーを
押したまま、(8)(9)キーを押し
ます。キートップ右上に印
刷された、拗音などの文字
を入力する場合は、(Shift)
キーを押しながら文字キー
を押します。

5. カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同様に、ひらがなをカタカナに変換することができます。

「ばーていー」と入力します。

(Space)キーを押すと、「パーティー」と変換されます。

カタカナのみ入力するときは、ツールバーで次のように設定します。

● MS-IME



ここをクリックし、メニューから「全角カタカナ」を選択する

MS-IME ツールバーは次のようになります (ローマ字入力の場合)。

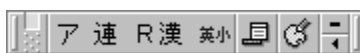


● ATOK



ここをクリックし、メニューから「全角カタカナ」を選択する

ATOK ツールバーは次のようになります (ローマ字入力の場合)。



続けて「をひらきます」と入力して「を開きます」に変換してみましょう。



- ・「一」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、キーを押します。
かな入力の場合は、キーを押します。
- ・「てい」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、または
とキーを押します。
 ローマ字入力について
▶「7章 1 ローマ字入力一覧表」
かな入力の場合は、キーを押した後、キーを押したまま、キーを押します。

3章

文字を入力してみよう


6. 記号を入力する

よく使う記号の入力方法は次のとおりです。


「。」を入力してみましょう。


● 「、」（読点）

ローマ字入力の場合 ..  キーを押す


かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

● 「。」（句点）


ローマ字入力の場合 ..  キーを押す

かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す


● 「？」（疑問符）

ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

● 「！」（感嘆符）

ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

MS-IME でかな入力の場合、「？」「！」はIMEツールバーを「半角英数」「直接入力」に変更して入力する、またはMS-IMEパッドから探してください。


 IMEパッド ▶ 「本章 8-IMEパッドで探す」

MS-IMEで「半角英数」や「直接入力」に変更する場合は、次のように操作します。

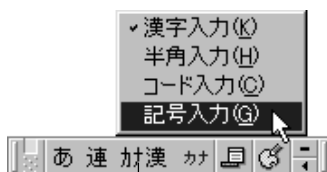


ここをクリックし、メニューから「半角英数」、または「直接入力」を選択する

ATOKでカナ入力の場合、「？」「！」はATOKツールバーを「半角英数」や「記号入力」に変更して入力する、または文字パレットから探してください。

 文字パレット ▶ 「本章 8-文字パレットで探す」


ATOKで「記号入力」に変更する場合は、次のように操作します。



ここをクリックし、メニューから「記号入力」を選択する

「。」が入力できたら、(Enter)キーを押して、改行してください。



・ [] (チルダ) を入力する方法
日本語入力システムを終了し、(Shift)キーを押しながら  キーを押します。

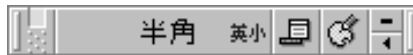
7. 英数字を入力する

英字（アルファベット）や数字を直接入力するとき、ツールバーは次のようになります。

● MS-IME



● ATOK



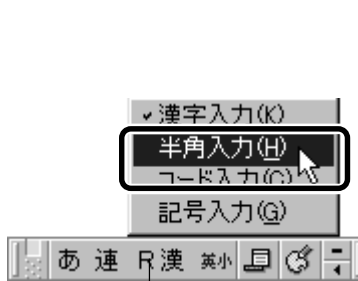
「ひらがなまたはカタカナ入力」⇔「直接入力」の切り替えは、MS-IMEは(半/全)キー、ATOKは(Alt)+(半/全)キーを押すと簡単にできます。または、ツールバーで次のように設定します。

● MS-IME



ここをクリックし、メニューから「直接入力」を選択する

● ATOK



ここをクリックし、メニューから「半角入力」を選択する

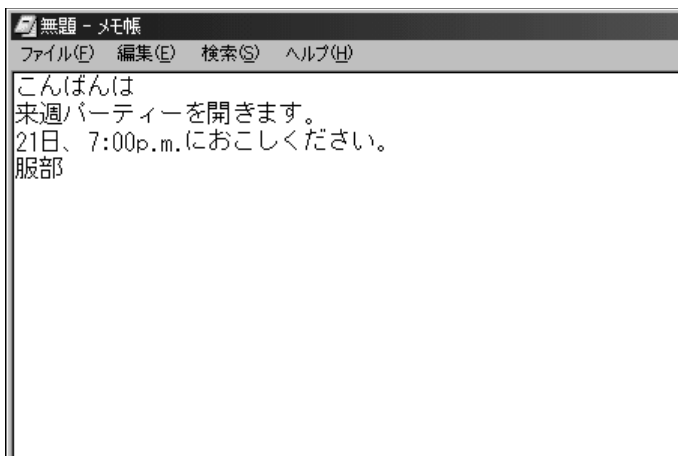
「21」と入力してみましょう。

「直接入力」の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

続けて「日」、「7:00」「p.m.」「に」「おこしてください。」と少しずつ入力してみましょう。

(Enter)キーを押して、改行してください。

「はっとり」と入力して、(Space)キーを押して変換します。



文が完成しました。

3章

文字を入力してみよう



・MS-IMEの場合、「全角英数」も選択できますが、英字または数字だけの文章の場合は、一般的に半角で入力します。



・小さい「っ」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、次の子音を重ねます。「服部」のときは (H)(A)(T)(T)(O)(R)(I)となります。
かな入力の場合は、(は)キーを押した後、(Shift)キーを押したまま (Z)キーを押します。

8. 入力がうまくできないとき

文字を削除する

文字を確定する前

■ 変換する前

(BackSpace)キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

■ 変換した後

(BackSpace)キーを押すと、変換する前の状態に戻ります。

文字を確定した後

■ 1文字ずつ削除する

(→)(←)(↑)(↓)キーでカーソルを、消したい文字の右側に移動し、(BackSpace)キーを押します。

また、(Del)キーを押すと、カーソルのひとつ右側にある文字が消えます。

■ 範囲を選択して削除する

一定の範囲の文字をまとめて削除することもできます。

マウスポインタを消したい範囲のはじめの文字の左側に移動し、クリックします。

消したい範囲をドラッグアンドドロップします。

こんばんは
来週パーティを開きます。
21日、7:00 p.m.にお越しください。
服部

(Del)または(BackSpace)キーを押すと、選択した範囲が消えます。

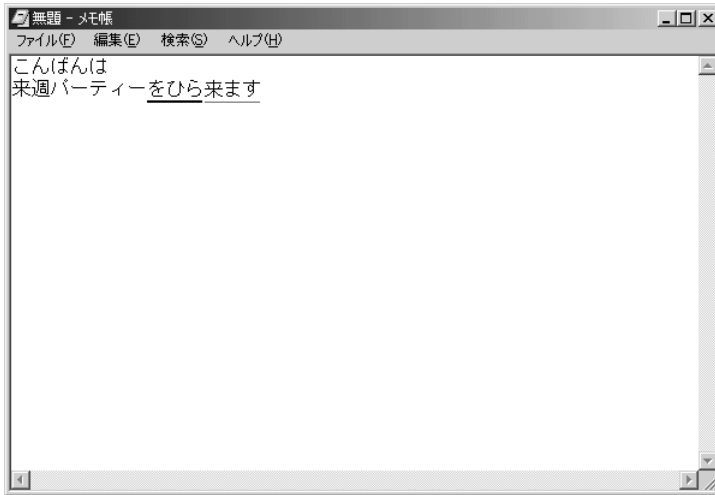
こんばんは
来週パーティを開きます。
21日、お越しください。
服部

変換の区切りを変える

ひらがなを漢字やカタカナに変換するとき、変換する区切りを指定することができます。

「をひらきます」と入力し、(Space)キーを押したとき、「をひら来ます」と変換された場合などは、区切りの範囲を指定して変換し直します。

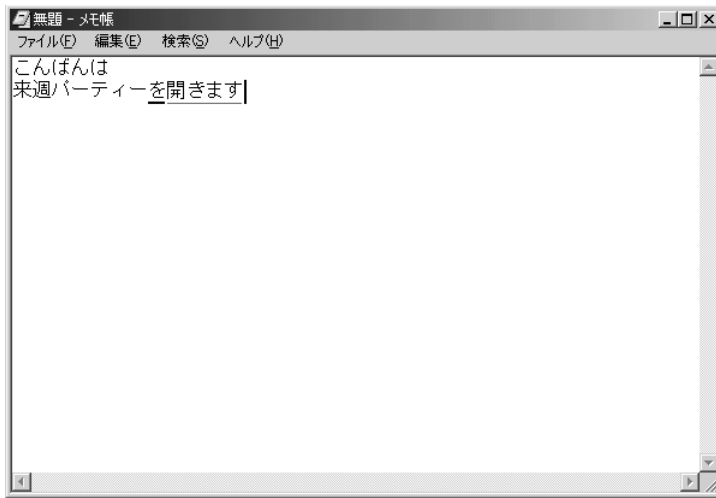
■ MS-IME の場合



(Shift) + (←)、(→) キーで範囲を指定してください。



(Space)キーを押すと、変換の区切りを変更して変換されます。



次の区切りの再変換が必要な場合は、(→)キーで太い下線を移動し、(Space)キーを押します。

■ ATOK の場合



←、→キーで範囲を指定してください。



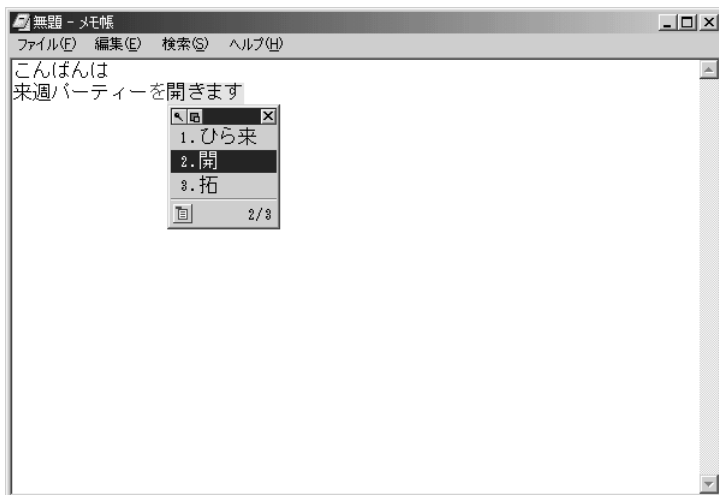
(Space)キーを押すと、変換の区切りを変更して変換されます。



次の区切りの再変換が必要な場合は、(Shift)+(→)キーでマークされた部分を移動します。



(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されますので、(Space)または(↑)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。



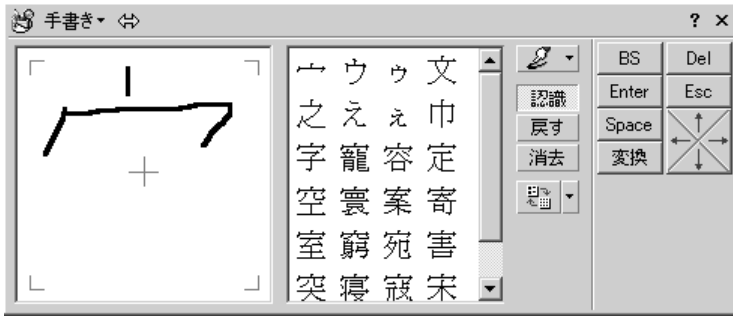
読みかたがわからない文字を入力する

IMEパッドで探す

MS-IMEでは、読みかたがわからない漢字や記号は、IMEパッドから探すことができます。「☆」を探してみましょう。

1 MS-IME ツールバーの [IMEパッド] アイコン () をクリックする

[手書き] 画面が表示されます。



2 [手書き] をクリックし①、表示されたメニューから [文字一覧] をクリックする②

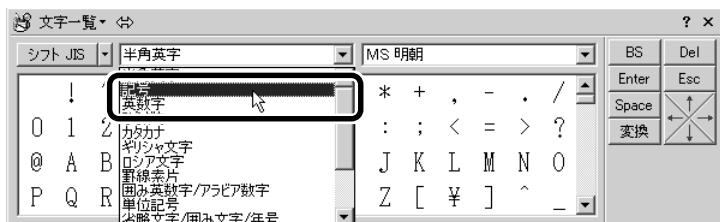


[文字一覧] 画面が表示されます。

3 「半角英字」と表示されているボックスの右にある ボタンをクリックする

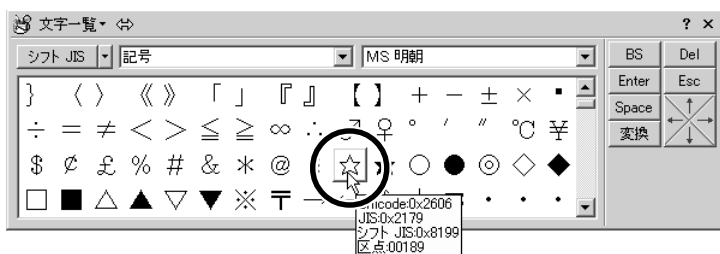


4 表示されたメニューから、[記号] をクリックする



記号の一覧が表示されます。

5 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックする



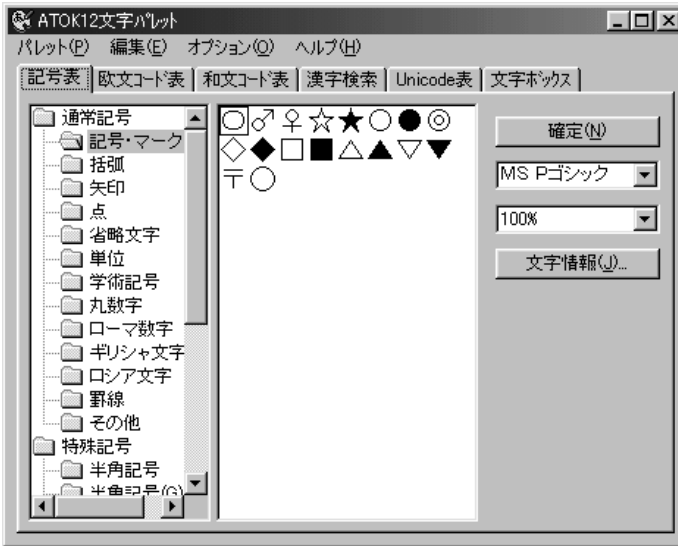
記号がカーソルの位置に入力されます。

文字パレットで探す

ATOKでは、読みかたがわからない漢字や記号は、文字パレットから探すことができます。「☆」を探してみましょう。

1 ATOK ツールバーの文字パレットアイコン () をクリックする

[ATOK12 文字パレット] 画面が表示されます。



2 [記号表] タブで左の一覧から [記号・マーク] をクリックする



3 右の一覧から目的の記号を探し、クリックして選択する



4 [確定] ボタンをクリックする



記号がカーソル位置に入力されます。

詳しくは、メニューバーの [ヘルプ] をクリックし、「ATOK12 文字パレットのヘルプ」をご覧ください。

ヘルプの起動

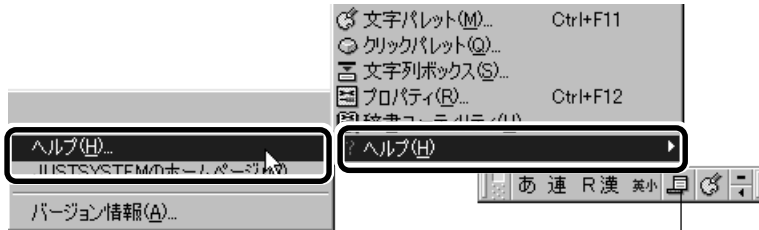
日本語入力システムの詳しい使いかたについては、次の手順で『MS-IMEのオンラインヘルプ』または『ATOKのオンラインヘルプ』をご覧ください。

■ MS-IME の場合



ここをクリックし、メニューから
[目次とキーワード] を選択する

■ ATOK の場合




ここをクリックし、メニューから
[ヘルプ] - [ヘルプ] を選択する

「日本語入力システム」によって、入力方法が多少異なります。MS-IME、ATOK以外の日本語入力システムをお使いになるときは、ご使用の『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。


日本語入力システムの切り替え方法

ジャストホームモデルの場合、日本語入力システムをATOKとMS-IMEを切り替えることができます。

● ATOK から ME-IME へ切り替える

タスクバーの  をクリックし、「Microsoft IME 2000 (Japanese)」をクリックする

● ME-IME から ATOK へ切り替える

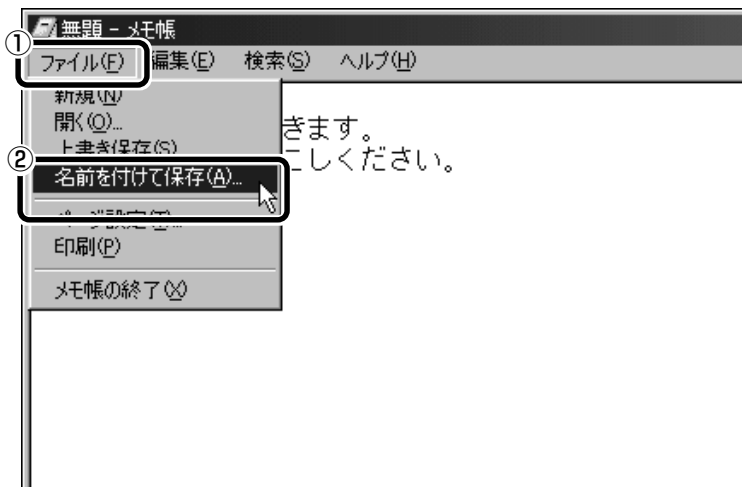
タスクバーの  をクリックし、「ATOK12」をクリックする

4

文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 【無題 - メモ帳】画面で、メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【名前を付けて保存】をクリックする②



【名前を付けて保存】画面が開きます。



【ファイル名】に、「無題」の文字が反転表示されています。

2 日本語入力になっているか確認する

ツールバーで確認し、必要な場合は、MS-IMEでは(半/全)キーを、ATOKでは(Alt)+(半/全)キーを押して切り替えてください。



・「無題」の文字は確定されていないので、何か文字を入力して確定すると、消すことができます。

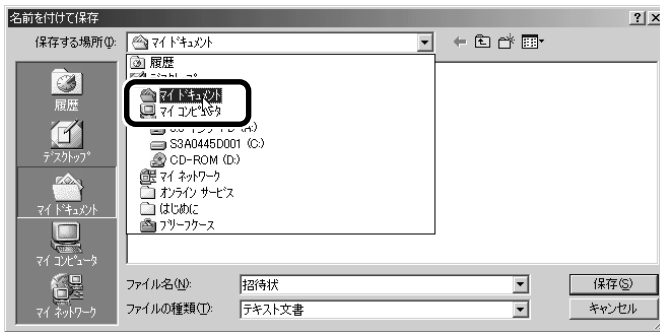
3 [ファイル名] 欄に「招待状」と入力する

「しょうたいじょう」と入力し、(Space)キーを押して漢字に変換します。
忘れずに(Enter)キーを押して確定してください。



4 [保存する場所] が [マイドキュメント] になっているか確認する

ほかの場所になっている場合は、ボックス右端の ▾ ボタンをクリックし、場所のメニューを表示します。



[マイドキュメント] をクリックしてください。

5 [保存] ボタンをクリックする

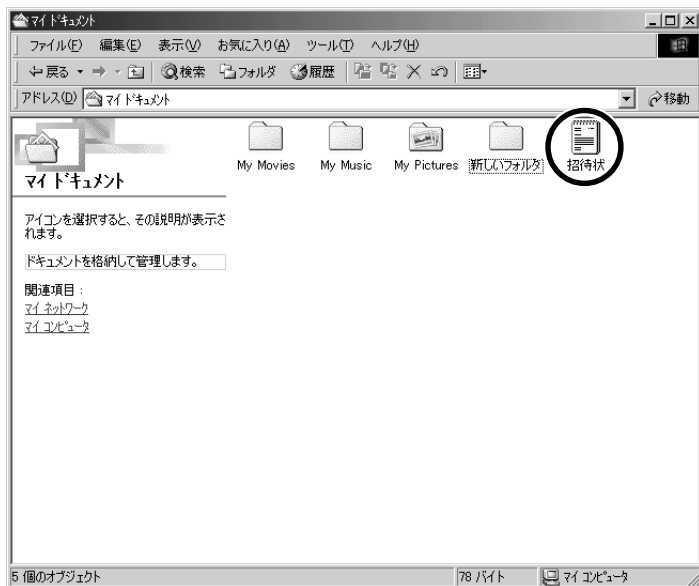


保存したら、開いていた [無題 - メモ帳] 画面のタイトルが「招待状 - メモ帳」になっているか確認してください。保存したファイルは、画面右上の [閉じる] ボタン (✕) で閉じることができます。

3章

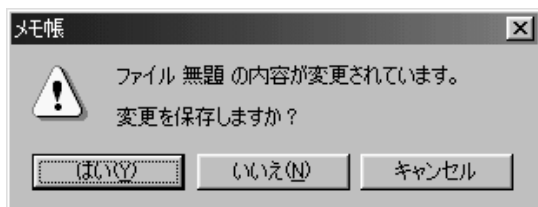
文字を入力してみよう

「招待状」を閉じたら、[マイドキュメント] を開いて [招待状] のファイルがあるか確認してください。



■ ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じると、「変更を保存しますか?」などのメッセージ画面が表示されます。



変更を保存するときは、[はい] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、本節手順2以降の操作を行なってください。

入力した文字などを保存しないときは、[いいえ] ボタンをクリックします。ファイル画面が閉じます。

元のファイル画面に戻るときは、[キャンセル] ボタンをクリックします。

4章

音楽を楽しもう

音楽 CD や音楽ファイルの再生方法について説明します。

1	音楽を聴く	86
----------	-------------	----

1 音楽を聴く

本製品の機能を使って音楽を楽しむには、次の方法があります。

- ・音楽CDを再生する
- ・音楽ファイルを再生する

1. はじめる前に

アプリケーションについて

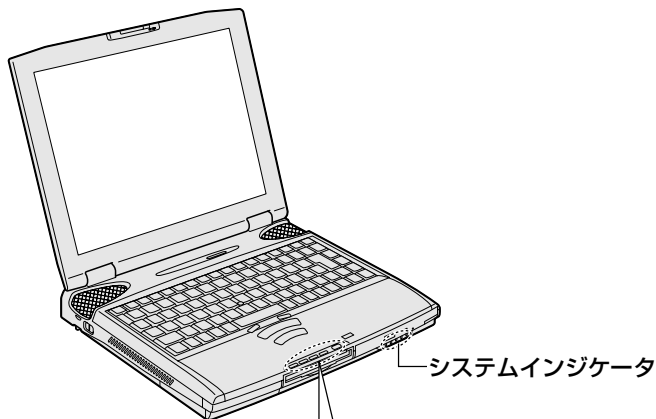
本製品には、音楽CDや音楽ファイルを再生するアプリケーションとして、次のものをご用意しています。

- Windows Media Player
- TOSHIBA Audio Manager
- 東芝 LIVE MEDIA PLAYER

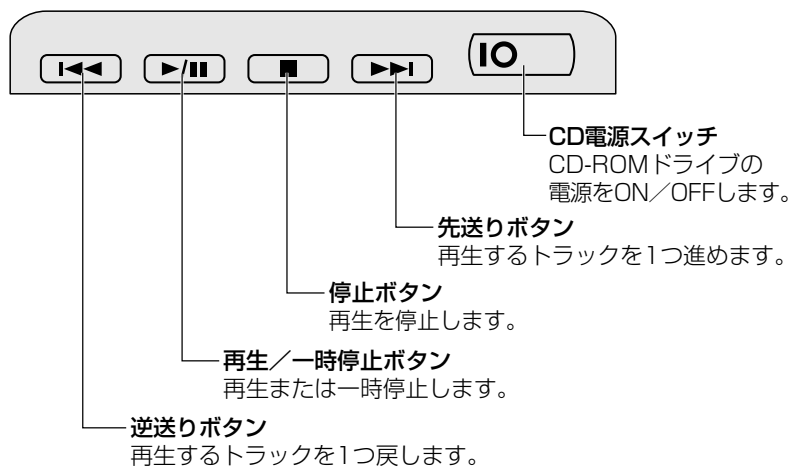
CD操作ボタン

CD操作ボタンを使うと、Windowsを起動せずに、ディスプレイを閉じたまま簡単に音楽CDを聴くことができます。

CD操作ボタンの各ボタンの役割は次のとおりです。





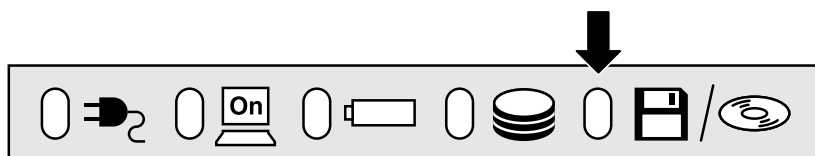
システムインジケータ



1 CD 電源スイッチを左へスライドする

CD-ROM ドライブの電源が入ります。電源を入れてから、4分以上、CD 操作ボタンの操作がない場合は、自動的に電源が切れます。その場合はもう一度同じように電源を入れ直してください。

CD-ROM ドライブの電源が入っているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。Power  LED は点灯しません。




2 音楽CDをセットする

 CDのセットのしかた ▶ 「6章 9-2 CDのセットと取り出し」

3 CD 操作ボタンで操作する

終了する場合は、電源を入れるときと同じように CD 電源スイッチを左へスライドします。

FDD/CD-ROM  LED が消えると、CD-ROM ドライブの電源が切れたことになります。



・ CD電源スイッチを左へスライドしたときの設定は、「東芝サービス」で切り替えることができます。



東芝サービス

▶ 「活用編 1章 2-東芝サービス」

・ パソコン本体の電源が入っているときは、CD 電源スイッチの操作は必要ありません。CD 操作ボタンの操作で音楽 CD を聞くことができます。

・ 音楽CDの再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

4章

音楽を楽しもう


2. 音楽CD／音楽ファイルを再生する

音楽CDを再生する

Windows を起動せずに、CD 操作ボタンの操作で音楽CDを再生することもできます。

 CD 操作ボタン ▶ 「本節 1-CD 操作ボタン」

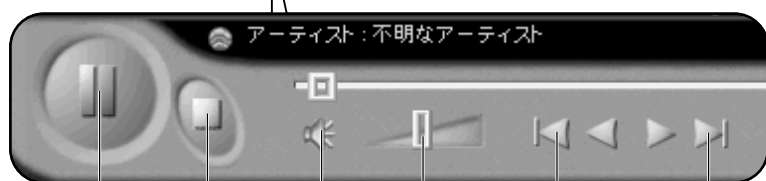
1 音楽CDをセットする

 CD のセット ▶ 「6章 9-2 CD のセットと取り出し」

本製品では、Windows を起動しているとき、音楽CDをセットすると「Windows Media Player」が自動的に起動し、音楽を再生します。

2 CD 操作ボタン、または画面のアイコンで操作する

「Windows Media Player」画面のアイコンの役割は次のとおりです。



再生／一時停止 再生または一時停止します。

ミュート 音を消します。

音量 音量を調整します。

前へ 再生するトラックを1つ戻します。

次へ 再生するトラックを1つ進めます。

(表示例)

 「Windows Media Player」の使いかた

▶ 『Windows Media Player のヘルプ』

「TOSHIBA Audio Manager」または「東芝 LIVE MEDIA PLAYER」で音楽を再生したいときは、あらかじめアプリケーションを起動してから音楽CDをセットし、各アプリケーション画面で操作してください。

 「TOSHIBA Audio Manager」

▶ 『活用編 1章 2-TOSHIBA Audio Manager』

 「東芝 LIVE MEDIA PLAYER」

▶ 『活用編 1章 2-東芝 LIVE MEDIA PLAYER』



・ヘルプの起動方法

「Windows Media Player」のメニューバーの「ヘルプ」から「トピックの検索」をクリックする

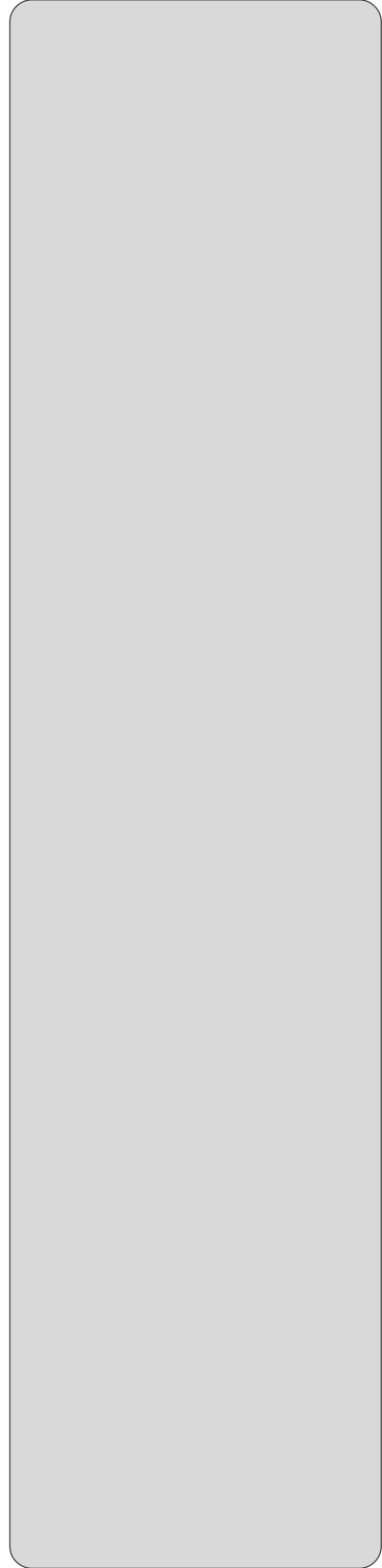
音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを再生するには、音楽再生アプリケーションを使用します。
あらかじめ、再生する音楽ファイルを [マイ ドキュメント] の [My Music] フォルダに保存してください。

詳しくは、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

1 音楽再生アプリケーションを起動する

2 アプリケーション画面で操作する



5章

パソコンのしくみ

ふだん「パソコン」と呼んでいるものは、
いろいろな要素から成り立っています。

- 1 ハードウェアとは 92
- 2 ソフトウェアとは 95

1 ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア (Hardware) とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

パソコンのハードウェアは、役割によって次のように分類することができます。

1. 記憶装置

パソコンで扱うデータを記憶する装置には、次のようなものがあります。

ハードディスクドライブ

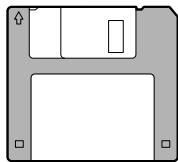
金属やガラスなどの固い円盤を高速に回転させてデータを記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。大きな容量で、たくさんのデータが記憶できます。

本製品には、ハードディスクドライブが内蔵されています。


必要があれば「外付け」のものを追加して記憶容量を増やすこともできます。

フロッピーディスク

3.5インチの薄い円盤にデータを記憶する媒体です。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。

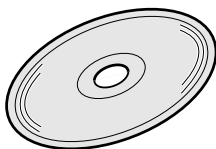


フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスクドライブ」または「フロッピーディスク装置」といいます。本製品には、フロッピーディスクドライブが内蔵されています。

 フロッピーディスクの使いかた ▶ 「6章 8 フロッピーディスク」

CD

直径 12cm の円盤にデータを記憶する媒体です。



用語

・内蔵

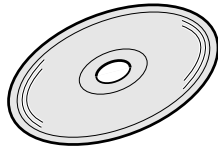
パソコン本体にあらかじめ組み込まれていること。

パソコンのデータを記録するCDには、次の種類があります。

- CD-ROM 読み出し専用
- CD-R 書き込みができる。1度書き込まれたデータの削除・変更はできない
- CD-RW 1000回程度、データの書き換えや削除が行える
- CDエクストラ 記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生する
- フォトCD 普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録する音楽CD

DVD

CDと同じ直径12cmの円盤に、CDの6～8倍のデータを記憶できます。

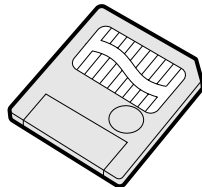


- DVD-ROM 読み出し専用
- DVD-Video 映像再生用

メモ리카ード

データを記憶する小さなカードです。次の種類があります。

- スマートメディア
- SDメモ리카ード など



大きなデータが保存できるので、デジタルカメラ、電子楽器、音声・音楽用機器、ファックス、プリンタ、スキャナなどの機器とのデータの移動に便利です。

2. 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

液晶ディスプレイ

画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。本製品には、液晶ディスプレイが内蔵されています。

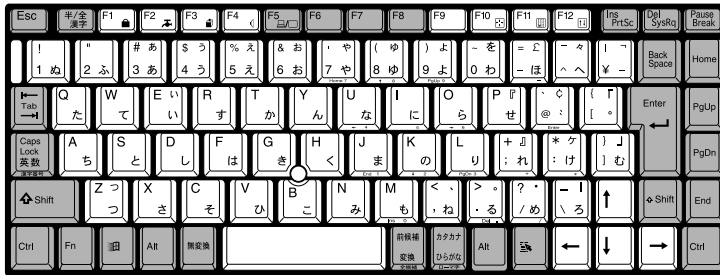
CRTディスプレイ

テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。


3. 入力装置

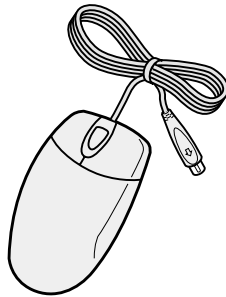
キーボード

文字や数字など、記号を入力してパソコンに指示を与える装置です。



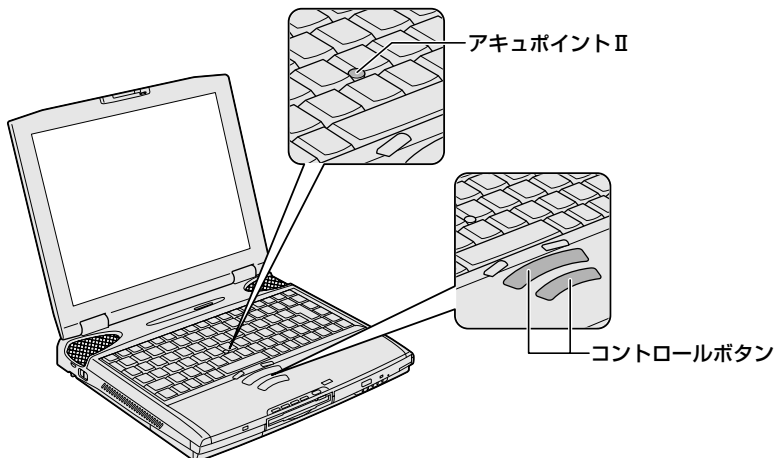
マウス

画面上のマウスポインタ () を動かして、パソコンに指示を与える装置です。本製品に同梱されています。



アキュポイントIIとコントロールボタン

マウスと同じ役割を持つ入力装置です。



2 ソフトウェアとは

ソフトウェア (Software) とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは目に見えませんが、ハードウェアであるパソコンに組み込んで (インストールして) 初めて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を發揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

1. OS (オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。


本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windowsが起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。Windowsでは、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にマウスポインタやアイコンが表示されます。

2. アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。ワープロや計算など、目的によって使い分けます。

アプリケーションはOSによって仕様が異なるので、Windows MeにはWindows Me対応のアプリケーションを使用します。セットアップ済みのパソコンにインストールした後、OSの上で起動して使います。本製品には、いろいろなアプリケーションがすでにインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

 本製品にインストールされているアプリケーションについて

▶『活用編 1章 アプリケーションについて』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形でひとまとまりに保存します。

Windowsでは、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

そのほかにも、OS上でハードウェアを動かすためのソフトウェア (ドライバ) や、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア (ユーティリティ) など、様々な種類のソフトウェアがあります。

用語

- ・インストール
ソフトウェアをパソコンに組み込み、使える状態に設定すること。



6章

本体の機能を知ろう

本製品に用意されている機能について説明しています。

1	各部の名前	98
2	インジケータ	101
3	キーボード	104
4	ディスプレイ	110
5	ハードディスクドライブ	111
6	サウンド機能	112
7	バッテリー	115
8	フロッピーディスク	122
9	CD	126
10	インターネットボタンとメールボタン ...	131
11	日常の取り扱いとお手入れ	133

1

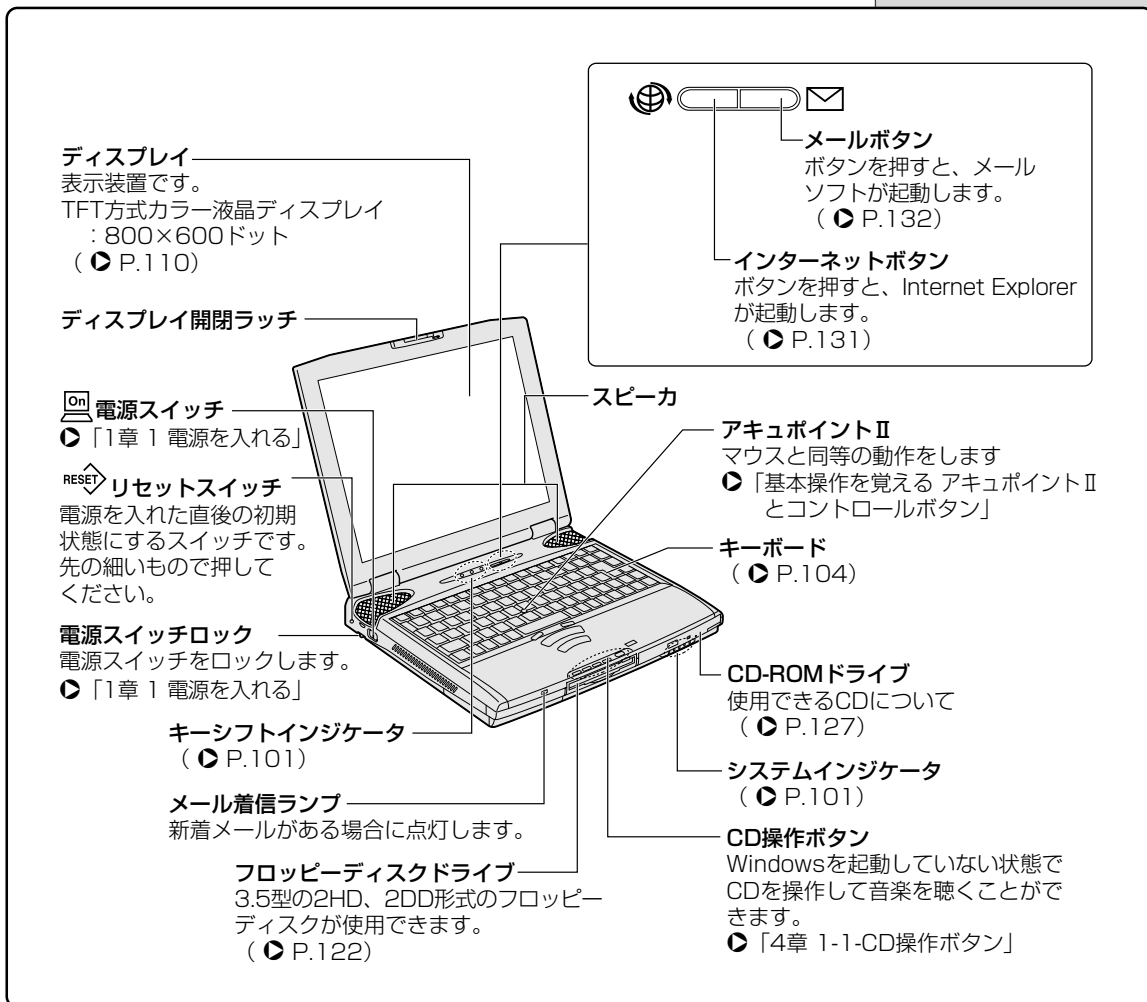
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

1. 本書で説明しているところ

■ 前面図



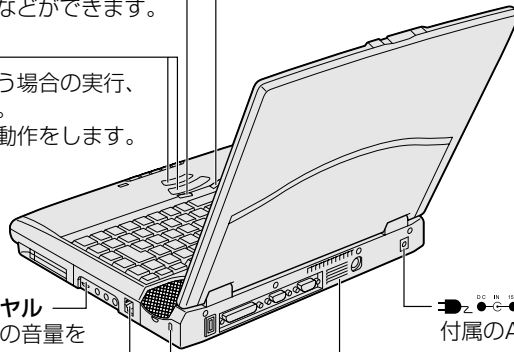
■ 背面図

スクロールボタン
画面のスクロールなどができます。

コントロールボタン
アキュポイントⅡを使う場合の実行、キャンセルボタンです。マウスボタンと同等の動作をします。

ボリュームダイヤル
ヘッドホンやスピーカの音量を調節します。音量を大きくしたいときは奥に、小さくしたいときは手前に回します。
▶ (P.112)


モジュージャック
モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。
▶ 『インターネット編 1章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』



電源コネクタ
付属のACアダプタを接続します。

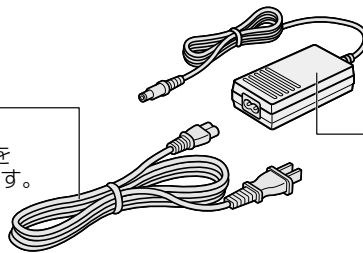
通風口
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための吹き出し口です。

セキュリティロック・スロット
盗難防止用にチェーンなどを接続します。

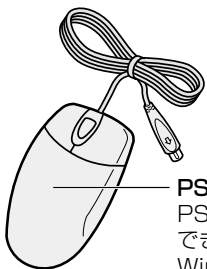
 **セキュリティロック用の機器**については、本パソコンに対応のものがどうかを販売店にご確認ください。

■ 付属品

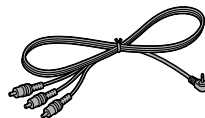
電源コード
電源コンセントからACアダプタに電源を供給するケーブルです。



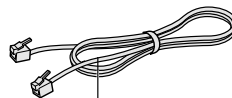
ACアダプタ
電源コネクタに接続し、パソコン本体に電源を供給します。



PS/2マウス
PS/2コネクタに接続して使用できます。Windowsのセットアップが終了した後に接続してください。
▶ 「マウスを取り付ける」

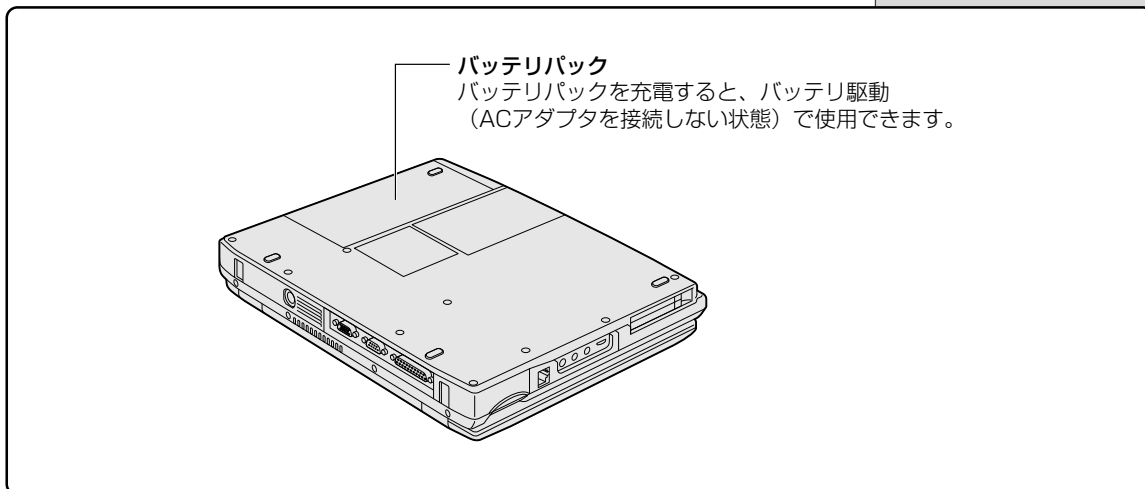


ビデオ出力ケーブル
ビデオ出力端子とNTSC/PAL規格対応のテレビなどを接続するケーブルです。
▶ 『活用編 3章 5 テレビを接続する』



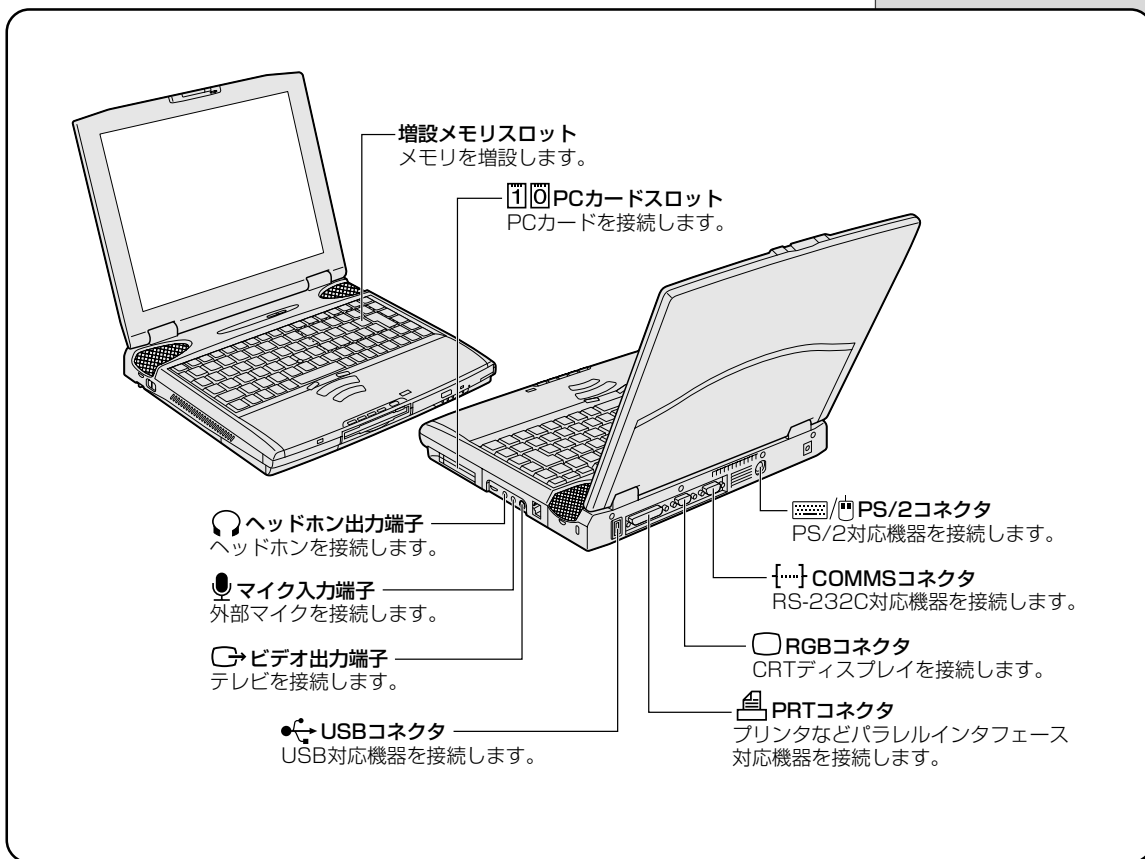
モジュラーケーブル
電話回線と内蔵モデムを接続するケーブルです。
▶ 『インターネット編 1章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』

■ 裏面図



2. 『活用編』で説明しているところ

次の場所には、周辺機器を接続できます。
詳しくは『活用編 3章 周辺機器を使おう』をご覧ください。



2 インジケータ

インジケータの点灯状況によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。


	DC IN LED	ACアダプタの接続 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Power LED	電源の状態 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Battery LED	バッテリーの状態 ▶「本章 7 バッテリ」
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている ▶「本章 5 ハードディスクドライブ」
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスクドライブ、またはCD-ROM ドライブにアクセスしている ▶「本章 8 フロッピーディスク」 ▶「本章 9 CD」 CD電源スイッチが入っている ▶「4章 1-1-CD操作ボタン」

キーシフトインジケータ

キーボードのキーは、状態によって入力できる文字が異なります。
キーシフトインジケータは、入力状態を示します。

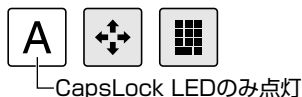
	Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」
	Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」
	Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」

CapsLock LED

文字キーを押すと、英字の大文字が入力できる「大文字ロック状態」を示します。
 (Shift)+(CapsLock 英数)キーを押すと、Caps Lock  LEDが点灯し、大文字ロック状態になります。

すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合、3つのLEDの状態を次のようにしてください。

大文字ロックは数字ロックやかな入力よりも優先度が低いため、LEDの状態が異なると、一部のキーが数字やキー制御のキーとなり、英字が入力できません。
 大文字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



MS-IMEツールバーを表示している場合は、[CAPS]の文字がくぼんで表示されます。




ATOKツールバーを表示している場合は、[英大]の文字が表示されます。



大文字ロック状態を解除するには、もう一度(Shift)+(CapsLock 英数)キーを押します。解除されると、CapsLock LEDは消灯します。

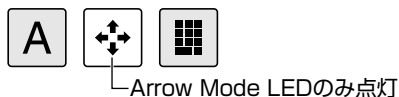
Arrow Mode LED


オーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使用できる「アロー状態」を示します。

(Fn)+(F10)キーを押すと、Arrow Mode  LEDが点灯し、「アロー状態」になります。アロー状態でオーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使えます。

アロー状態を解除するときは、もう1度(Fn)+(F10)キーを押します。解除されるとArrow Mode LEDは消灯します。


アロー状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



 オーバレイキーについて ▶ 「本章 3 キーボード」

Numeric Mode LED

オーバーレイキーを押すと、数字が入力できる「数字ロック状態」を示します。

(Fn)+(F11)キーを押すと、Numeric Mode  LEDが点灯し、数字ロック状態になります。

数字ロック状態でオーバーレイキーを押すと、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

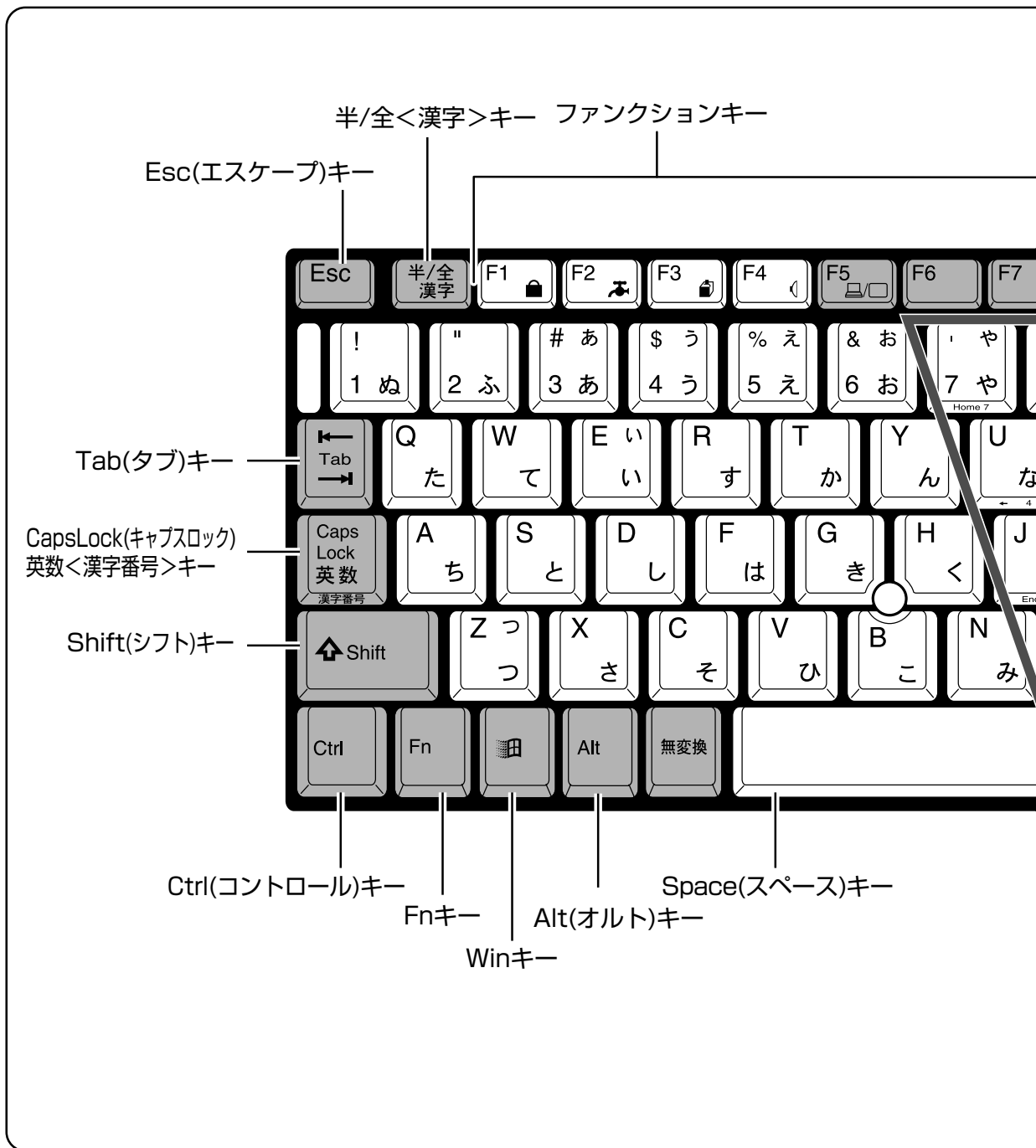
数字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。

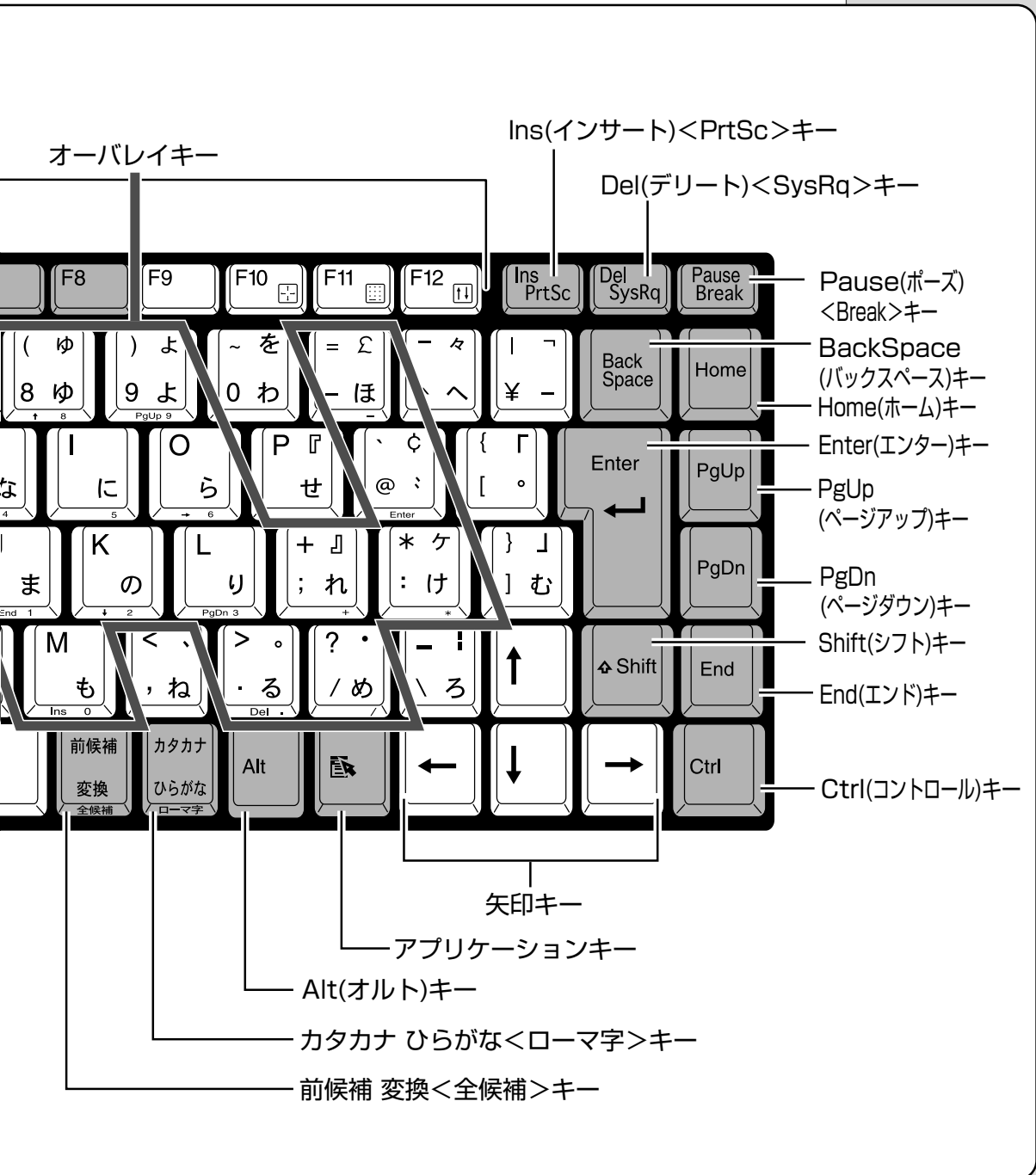


Numeric Mode LED点灯

3 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。
キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。
お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。





6章

本体の機能を知ろう


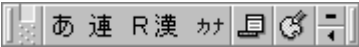

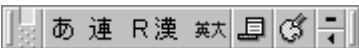
主なキーの呼びかたと役割

キー	内容
(Esc) (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
(Shift) (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
(Alt) (オルト) (Ctrl) (コントロール)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
(田) (ウイン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
(Space) (スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
(鼠) (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
(Fn) (エフエヌ)	オーバーレイキーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
(Ins) (インサート)	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
(Del) (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
(→) (←) (↑) (↓) (矢印)	カーソル移動などに使います。
(Enter) (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
(F1)~(F12) (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。




入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
(Alt)+(カタカナひらがな)	<p>MS-IME でかな入力ができる状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを入力できます。MS-IME ツールバーを表示している場合は [KANJI] の文字がくぼんで表示されます。</p>  <p>パソコンを再起動すると、標準設定（ローマ字入力）に戻ります。</p>
(カタカナひらがな)	<p>ATOK でかな入力ができる状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを入力できます。ATOK ツールバーを表示している場合は、[カナ] の文字が表示されます。</p>  <p>パソコンを再起動すると、標準設定（ローマ字入力）に戻ります。</p>
(Shift)+(CapsLock 英数)	<p>大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。MS-IME ツールバーを表示している場合は、[CAPS] の文字がくぼんで表示されます。</p>  <p>ATOK ツールバーを表示している場合は、[英大] の文字が表示されます。</p> 

かな入力や大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。ロック状態の優先度は、かな入力状態>大文字ロック状態です。

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + F1 〈インスタント セキュリティ機能〉	表示画面をオフにし、キーボードやマウスから入力できなくします。解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、Enter キーを押します。パスワードを設定していない場合はEnter キーまたはF1 キーを押します。 パスワードは、「東芝HWセットアップ」で設定します。  詳細について ◎『活用編 1 章 2-東芝HWセットアップ』
Fn + F2 〈省電力モードの設定〉	Fn + F2 キーを押すと、設定されている東芝省電力ユーティリティの省電力モードが表示されます。 Fn キーを押したまま、F2 キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn + F3 〈使用する機能の選択〉	Fn + F3 キーを押すと、電源を切る状態（スタンバイ、休止状態、電源オフ）のメニューが表示されます。 Fn キーを押したまま、F3 キーを押すたびに、表示が切り替わり、電源スイッチを押したときに実行する機能が設定されます。
Fn + F4 〈アラーム音量の調節〉	アラーム音量を調節します。ビープ音で音量を知らせます。 Fn キーを押したまま、F4 キーを押すたびに音量が変わります。  OFF → 小 → 中 → 大
Fn + F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。  詳細について ◎『活用編 3 章 5 テレビを接続する』 ◎『活用編 3 章 7-3 CRT ディスプレイを接続する』
Fn + F10 〈アロー状態〉	キートップ前面左側に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度Fn + F10 キーを押します。
Fn + F11 〈数字ロック状態〉	キートップ前面右側に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度Fn + F11 キーを押します。
Fn + F12 〈スクロールロック状態〉	一部のアプリケーションで↑↓←→キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度Fn + F12 キーを押します。

⌘キーを使ったショートカットキー

⌘キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
⌘+R	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
⌘+M	すべてをアイコン化する
Shift+⌘+M	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘+F1	『ヘルプとサポート』を起動する
⌘+E	Windows エクスプローラを起動する
⌘+F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl+⌘+F	他のコンピュータを検索する
⌘+Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘+Break	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操作
システムの再起動	Ctrl+Alt+Del	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	Fn+Ins	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	Fn+Alt+Del	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



- ・システムが操作不能になったとき以外は、Ctrl+Alt+Delキーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

4 ディスプレイ

本製品では TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（800 × 600 ドット）を採用しています。

 ディスプレイとは ▶ 「5 章 1-2 表示装置」

カラー液晶ディスプレイの機能について説明します。

■ 表示について

- 本製品では、カラー対応のアプリケーションをご使用の場合にカラー表示されます。それ以外の場合は、モノクロ表示になります。
- TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすることは困難ですので、ご了承ください。

■ 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 x 1200 ドット	65,536 色
1280 x 1024 ドット	1,677 万色
1024 x 768 ドット	1,677 万色
800 x 600 ドット	1,677 万色
640 x 480 ドット	1,677 万色

1024 x 768 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。

仮想スクリーン表示のとき、Windows のタスクトレイにある時計の一部が表示できない場合があります。その場合は CRT ディスプレイに表示してください。

 CRT ディスプレイの接続

- ▶ 『活用編 3 章 7-3 CRT ディスプレイを接続する』



・1,677 万色はディザリング表示です。



・ディザリング
1 ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法。


5

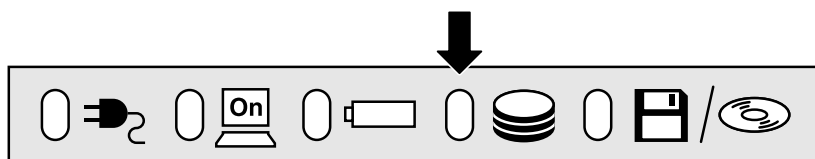
ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、本体に内蔵されています。取りはずしはできませんので、分解しないでください。

 ハードディスクドライブとは ▶ 「5章 1-1 記憶装置」

ハードディスクドライブに関する表示

ハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。




ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。バックアップの方法は、『ヘルプとサポート』をご覧ください。

ハードディスクを使用するときのお願い

- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。落とす、ぶつけるなど強いショックを与えないでください。
- ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。



・Disk  LED が点灯中は、電源を切ったり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データが消失するおそれがあります。

6章

本体の機能を知ろう

6 サウンド機能

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

- スピーカについて ▶「本節 1 スピーカの音量を調整する」
- 音楽／音声の録音レベルの調整について
 - ▶「本節 2 音楽／音声の録音レベルを調整する」
- システムスピーカについて ▶「本節 3 システムスピーカについて」

1. スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能はMicrosoft Windows Sound System、およびSound Blaster Proに適合しています。


スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、またはWindowsの「ボリュームコントロール」を使用します。

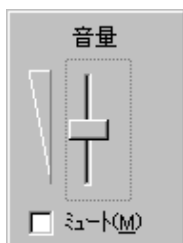
ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

 ボリュームダイヤル ▶「本章 1 各部の名前」

[音量]アイコンから調整する

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をクリックする
次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。


- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す

用語

・ハウリング

スピーカから出た音がマイクに入りスピーカに返されると、音が増幅される。これが繰り返されて発生する高く大きな音のこと。

ボリュームコントロールで調整する

1 タスクバー上の【音量】アイコン () をダブルクリックする
または、【スタート】 - 【プログラム】 - 【アクセサリ】 - 【エンターテイメント】 - 【ボリュームコントロール】 をクリックする
【音量の調整】 画面が表示されます。

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。【ミュート】 をチェックすると、消音になります。

■ 音楽／音声を再生するとき

「音量の調整」の各項目では次の音量が調整できます。

音量の調整 : 全体の音量を調整する

WAVE : MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽CD (Windows Media Player の場合) など

CD : 音楽CD

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

2. 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

- 1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする、または [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] - [プロパティ] をクリックする
- 3 ミキサーデバイスを [ESS Maestro] に変更する
- 4 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 5 [表示するコントロール] をチェックする
[ミキサー] [Mic] がチェックされていることを確認します。
- 6 [OK] ボタンをクリックする
- 7 [録音の調節] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする
[ミキサー] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽 CD などを録音するとき
[Mic] : 外部マイクから録音するとき
- 8 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



・同時に2つのデバイスを選択することはできません。




・録音したい音楽／音声は「音量の調整」の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

3. システムスピーカについて

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。

設定方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [東芝 HW セットアップ] アイコン () をダブルクリックする
- 3 [Hardware Alarm] タブで設定する
鳴らす場合は [System Beep] をチェック () します。
音量は [Alarm Volume] のスライダーバーをドラッグして調整します。



・[コントロールパネル] 画面に [東芝 HW セットアップ] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

7 バッテリ

危険

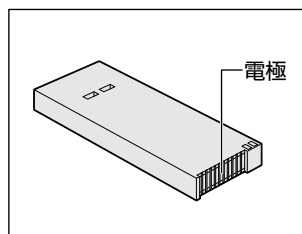
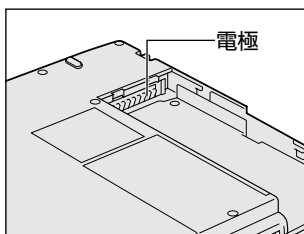
- ・バッテリーパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックを分解・改造しないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックの電極の（+）と（-）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。
- ・バッテリーパックにくぎを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

- ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。
- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリーを充電するために、ACアダプタを接続して充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。スタンバイ機能を実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープをはるなどの対策をこうじてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
- ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。
- ・充電機能が著しく低下した場合や、バッテリーのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けないでください。
そのまま使い続けると、本体内の記憶内容がこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリーの交換をしてください。
- ・バッテリーパックを捨てるときは、ショート防止のために、電極に絶縁（ぜつえん）テープをはり、地方自治体の条例や規則に従ってください。
そのままの状態では捨てると、破裂、発火のおそれがあります。
- ・本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。バッテリーをフル充電しなくても使えますが、使用できる時間は短くなります。

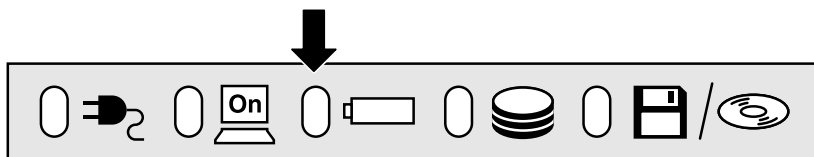
ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

1. バッテリ充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

Battery LED で確認する


ACアダプタを接続している場合、Battery LED が緑色に点灯すれば充電完了です。



バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。Battery LED は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	・バッテリーが接続されていない ・ACアダプタが接続されていない ・バッテリー異常

アイコンで確認する

タスクバーの[省電力]アイコン()の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

● ACアダプタを接続している場合



● バッテリ駆動の場合



(表示例)

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。




・タスクバーに表示される[省電力]アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
・東芝省電力ユーティリティ([コントロールパネル]-[東芝省電力])の[電源設定]タブの設定内容によっては、タスクバーに[省電力]アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定]タブで[タスクバーに省電力モードの状態を表示する]をチェックしてください。

6章

本体の機能を知ろう

バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- Battery  LED がオレンジ色に点滅する (バッテリーの減少を示しています)
- 警告音 (ビーブ音) が鳴る

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの対処を実行してください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態にし、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、休止状態を有効にしておくことをおすすめします。


時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、AC アダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

状態	時計用バッテリー
電源ON (Power  LED が点灯)	10時間以上
電源OFF (Power  LED が消灯)	ほとんど充電しない



- ・長時間使用しないで自然に放電しきってしまったときは、警告音でも Battery  LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。





- ・時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning (警告) メッセージが出ます。

2. バッテリーを充電する



ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

充電方法**1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ**

DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず常時充電されます。

2 Battery  LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ON	約4～10時間
電源OFF	約2～3時間

(注) 周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。次の時間は目安にしてください。

■ 充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	動作時間
ノーマル	約2時間

(注) 当社オリジナルプログラムで計測

●使っていないときの充電保持時間




パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。この場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

■ フル充電した状態で電源を切った場合

パソコン本体の状態	保持時間
電源切断または休止状態	約2週間

バッテリーを節約する

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- バッテリーの充電を完了（フル充電）する
- バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく
- 休止状態にし、こまめに電源を切る
 -  休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」
- パネルスイッチ機能を活用し、入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
 -  パネルスイッチ機能 ▶ 「1章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」
- 省電力モードを設定する
 -  省電力モードの設定 ▶ 『活用編 1章 2- 東芝省電力ユーティリティ』

お願い

- ・バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、10～30℃の室温で充電してください。

メモ

- ・使用しないときはバッテリーパックをパソコンから取りはずしておく、バッテリー駆動で使用できる時間は長くなります。
- ・スタンバイ機能を実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

3. バッテリーパックを交換する

取りはずし／取り付け

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

スタンバイ機能を実行すると、バッテリーパックをはずしたときにデータが消失するので使用できません。

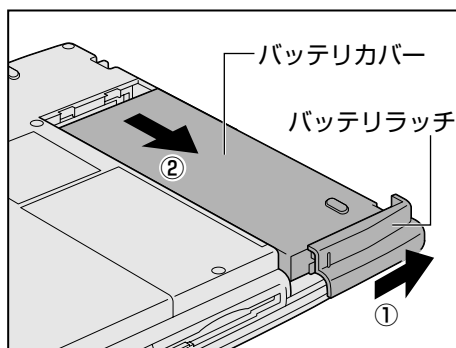
休止状態にする場合は、「東芝省電力ユーティリティ」の[休止状態]タブで、[休止状態をサポートする]をチェックしてください（休止状態にすることにより、再起動にかかる時間が短くて済みます）。

 休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」

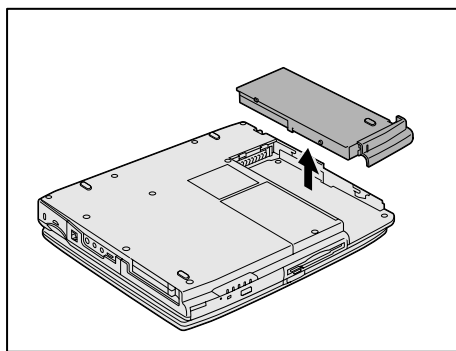
2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 バッテリラッチを横に押し①、バッテリーカバーをスライドさせる②



5 バッテリーパックごと、バッテリーカバーを取り出す



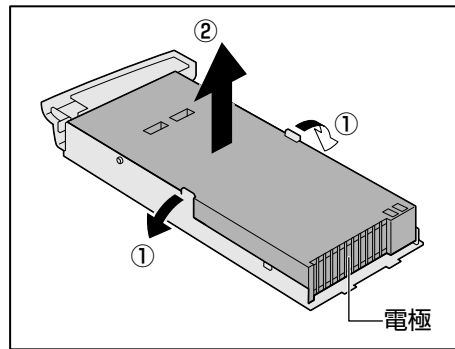
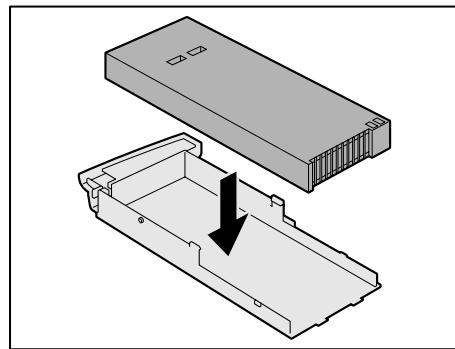
・バッテリーパックの取り付け/取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。



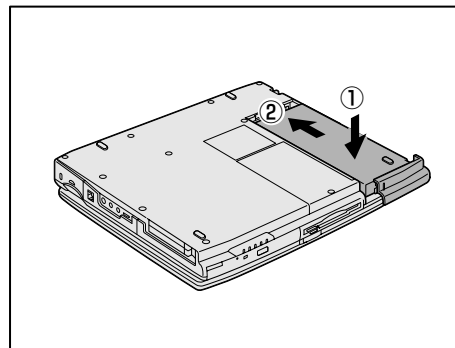
・「東芝省電力ユーティリティ」は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックして、[東芝省電力]（表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック）をダブルクリック。

6 バッテリーカバーからバッテリーパックを取り出す

バッテリーカバーのツメを左右に広げ①、バッテリーパックを取りはずします②。

**7** 交換するバッテリーパックをバッテリーカバーに取り付ける**8** バッテリーラッチが右側にあることを確認し、バッテリーパックをコネクタの位置に合わせ①、静かに差し込む②


新しい、あるいは充電したバッテリーパックを注意して差し込んでください。

**9** バッテリーラッチをスライドさせ、バッテリーパックを固定する


8

フロッピーディスク

⚠ 注意

- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。

1. フロッピーディスク


 フロッピーディスクとは ▶ 「5章 1-1 記憶装置」

使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。

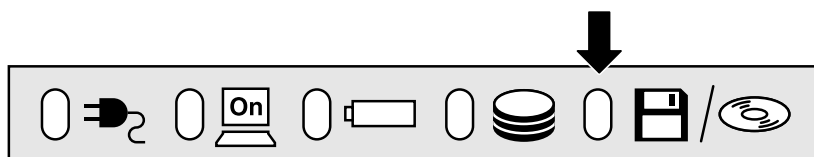
フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.2MB
2HDタイプ	1.44MB

1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

 フォーマットについて ▶ 「本節 3- フォーマット」

フロッピーディスクドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。



メモ

- ・Windows用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。
- ・1.2MBの容量にフォーマットすることはできません。1.2MBのフロッピーディスクへは、読み出しと書き込みができます。

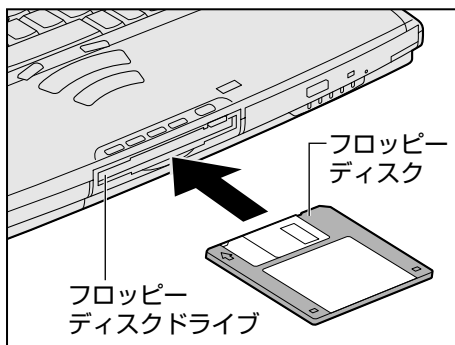
2. フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

フロッピーディスクのセット

1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きにあわせて挿入する

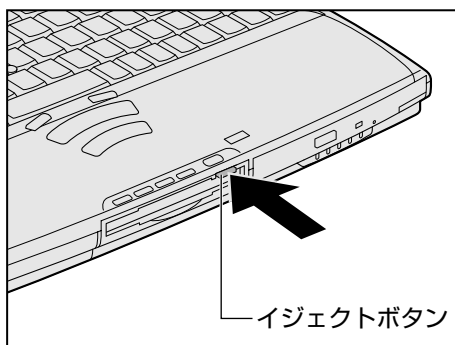
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。



フロッピーディスクの取り出し

1 イジェクトボタンを押す

フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



フロッピーディスクの内容を見る

1 デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする

[マイ コンピュータ] 画面が開きます。

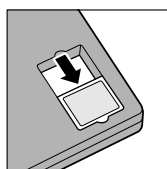
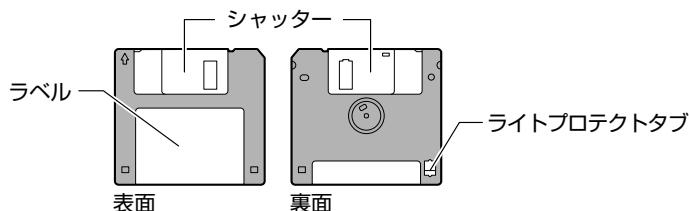
2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をダブルクリックする

[3.5 インチ FD (A:)] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3. フロッピーディスクを使う前に

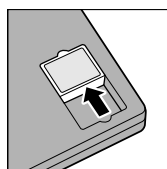
ライトプロテクトタブ

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

フォーマット

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム (OS) にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

フォーマットには、「クイックフォーマット」と「通常のフォーマット」という方法があります。

■ クイックフォーマット

以前にフォーマットしたことがあるフロッピーディスクに実行できます。クイックフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されますが、基本情報の書き込みなどは行われません。フロッピーディスクが壊れているおそれのある場合は、クイックフォーマットは行わないでください。

■ 通常のフォーマット

すべてのファイルが消去され、基本情報が書き込まれます。ディスクの損傷があるかどうかもチェックされます。



・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。1度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

フォーマット方法

Windowsでのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、『ヘルプとサポート』をご覧ください。

1 フロッピーディスクドライブに、フォーマットするフロッピーディスクをセットする

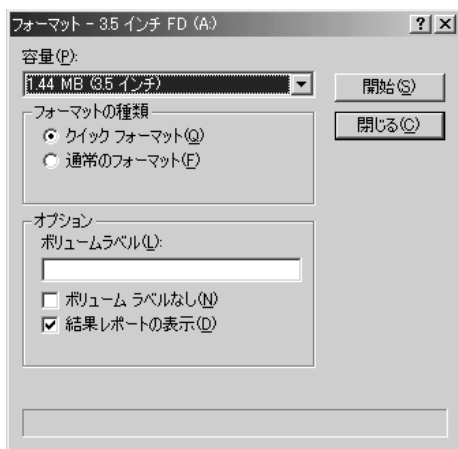
2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする

3 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をクリックする

[3.5 インチ FD (A:)] が選択され、アイコンの色が反転します。

4 [マイコンピュータ] 画面で [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする

アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



5 フォーマット方法を選択し、[開始] ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。

6 [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。

フォーマットを終了する場合は、[フォーマット] 画面で [閉じる] ボタンをクリックします。



- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HDフロッピーディスクを2DDタイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.44MBのみになります。

6章

本体の機能を知ろう





- ・初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。

警告

- ・CD-ROM ドライブはサービスマン以外のかたは絶対に分解しないでください。内部にはレーザー光線が使用されており、万一、分解または不適切な使用、修理などがあると、人体への悪影響（目の痛みなど）をおよぼすおそれがあります。

注意

- ・ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因になります。
- ・FDD/CD-ROM  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、CD-ROM ドライブが動作しています。このときはイジェクトボタンを押さないでください。CD が傷ついたり、または CD-ROM ドライブの故障の原因となります。
- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LED が点灯しているときは、CD を取り出さないでください。CD のデータや CD-ROM ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD のデータや CD-ROM ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・CD-ROM ドライブのトレイを開けたときに、CD が回転している場合には、停止するまで CD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。

CD 操作ボタンを使用して、CD などを聴いていた場合は、CD などを停止させ、CD などを取り出した後、CD 電源スイッチで電源を切ってください。

 CD 電源スイッチ ▶ 「4 章 1-1 CD 操作ボタン」

 CD とは ▶ 「5 章 1-1 記憶装置」



・CD-ROM ドライブはレーザー光線を使用しています。製品を安全に使用するため、本書をよく読んでからお使いください。機器に保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

1. CD

使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

①音楽用CD

8cmまたは12cmの音楽用CDが聴けます。

▶「4章 1 音楽を聴く」

②フォトCD

③CD-ROM


使用するシステムに適合するISO 9660 フォーマットのもので使用できます。



④CD エクストラ

⑤CD-R

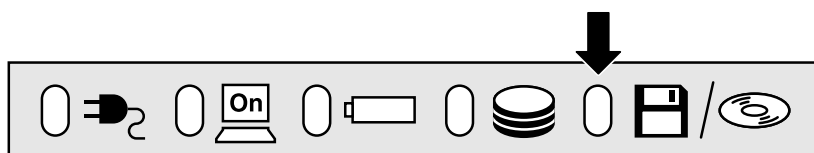
⑥CD-RW

CD-ROMドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、CD-ROMドライブが動作しているときは、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。

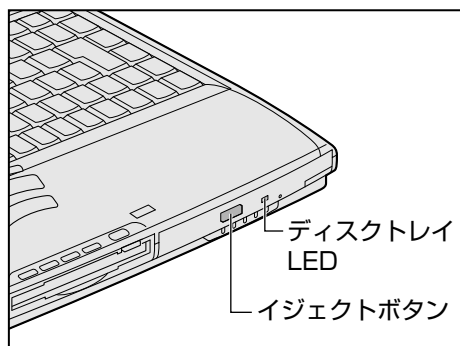
パソコン本体の電源が入っていない場合、CD電源スイッチでCD-ROMドライブの電源を入れると、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。このとき、Power  LEDは点灯しません。

 CD電源スイッチ ▶「4章 1-1-CD操作ボタン」



2. CDのセットと取り出し

CDは、電源が入っているときにセット／取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- FDD/CD-ROM  LEDが点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

CDのセット

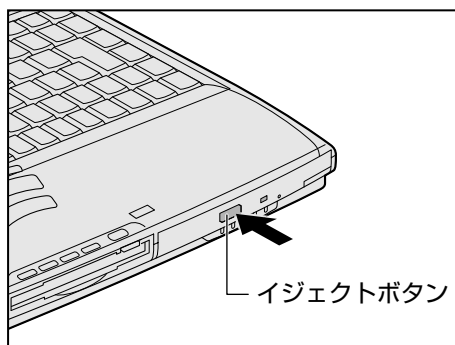
CDをセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる、またはCD電源スイッチを左へスライドする

 CD電源スイッチ  「4章 1-1-CD操作ボタン」


2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



・パソコン本体を携帯するときは、CD-ROMドライブにCDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

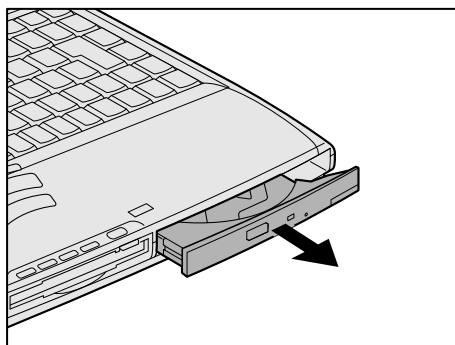


・Windowsが起動したとき、FDD/CD-ROM  LEDが周期的に薄く点灯します。これはCDの自動挿入を検出しているためで、故障ではありません。

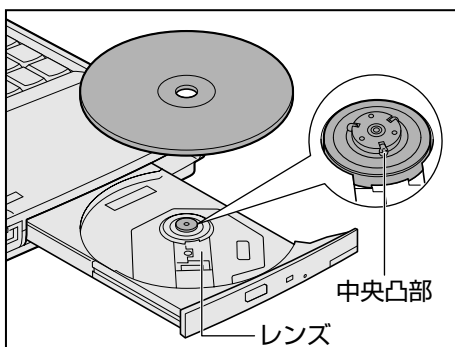
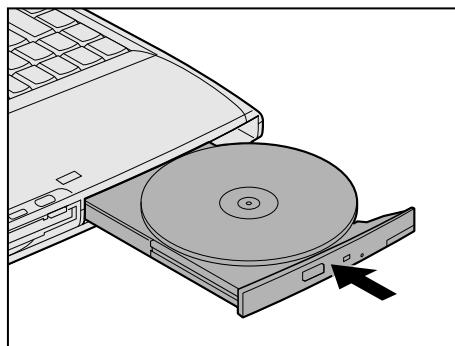
・電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

**4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする**

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。

**5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す****CDの取り出し**

1 パソコン本体の電源を入れる、またはCD電源スイッチを左へスライドする

2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



- ・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CDを正しくディスクトレイにセットしないとCDを傷つけることがあります。

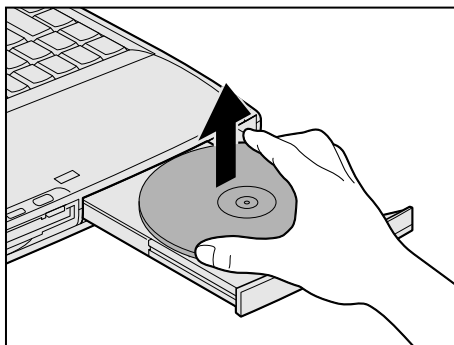


- ・傷ついたり汚れのひどいメディアは、メディアを挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。その場合、しばらくすると、再生が始まります。
- ・メディアの汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭き取ってから再生してください。
- ・メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

6章

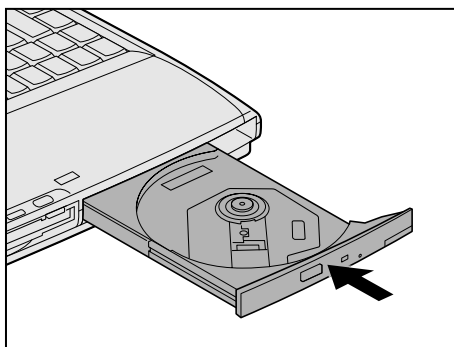
本体の機能を知ろう

- 4** CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す
ディスクトレイからCDを取り出します。



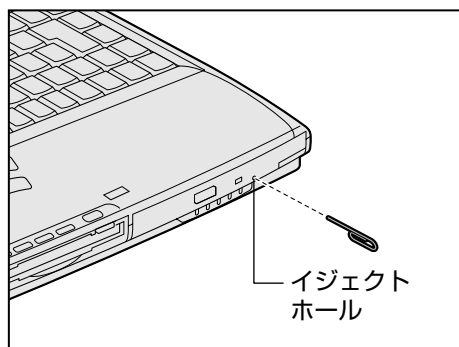
CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。

- 5** 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す




■ ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROMドライブのイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押ししてください。ディスクトレイが出てきます。




- ・パソコン携帯時は、CD-ROMドライブに入っているCDは取り出してください。
- ・電源を入れ、CD-ROMドライブのインジケータが点滅しなくなったことを確認してから、CD-ROMドライブのイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。


ボタンを押すと、あらかじめ登録されているアプリケーションが起動します。プロバイダとの契約やインターネット接続の設定、メールソフトの設定が完了してからご使用ください。

 インターネット接続の設定

▶ 『インターネット編 1 章 2 インターネットに接続する』

 メールソフトの設定 ▶ 『インターネット編 2 章 2 必要な設定を行う』

また、あらかじめパソコン本体を電話回線に接続してください。

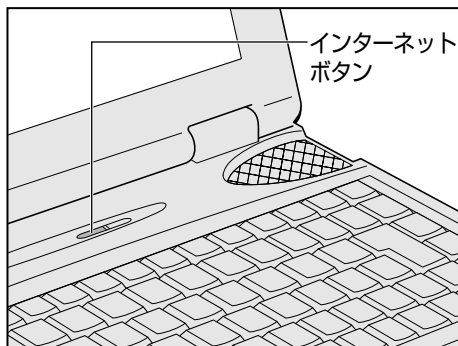
 接続について

▶ 『インターネット編 1 章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』

インターネットボタン

1 インターネットボタン () を押す

Internet Explorer が起動します。



パソコン本体の電源が入っていないときは電源が入ります。

スタンバイ機能実行中、または休止状態にしていたときにインターネットボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後 Internet Explorer が起動します。

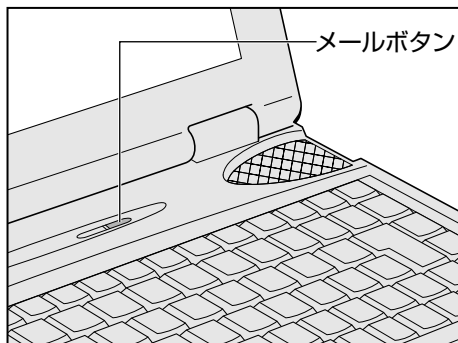
 Internet Explorer の使いかた

▶ 『インターネット編 1 章 3 Internet Explorer の使いかた』

メールボタン

1 メールボタン (✉) を 押す

メールソフトが起動します。



パソコン本体の電源が入っていないときは電源が入ります。
スタンバイ機能実行中、または休止状態にしていたときにメールボタンを
押すと、電源を切る前の状態が再現された後メールソフトが起動します。

メールソフトの設定方法

1 デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン (e) を 右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をク リックする

[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

2 [プログラム] タブの [電子メール] でメールソフトを選択する

3 [OK] ボタンをクリックする

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・持ち運ぶときは、必ず電源を切り、電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。かばんの中など、本製品の発する熱がこもりやすい場所では、内部の温度が上がり、火災、故障のおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5～35℃、湿度 20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。
電源を切った後も、Disk LEDが点灯中は動かさないでください。
- 電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。
電源スイッチロックを解除して持ち運んだ場合、誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。
この場合、バッテリー駆動になりますので、使用するときにバッテリーが消耗している原因になります。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。

- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクやCDが入っている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PA2487U1）と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
- アキュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

アキュポイントII（ポインティング装置）

アキュポイントIIは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

キャップの取り換え

予備として2個のアキュポイントキャップが同梱されています。長期間使用し、すり切れたら取り換えてください。取り換え方法は次のとおりです。

- 1** アキュポイントキャップをしっかりとつまんで垂直に引き上げる
- 2** 新しいアキュポイントキャップを切り込みにあわせてアキュポイントIIにはめる

フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

CD-ROMドライブ

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。
市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にCD-ROMドライブをクリーニングしてください。



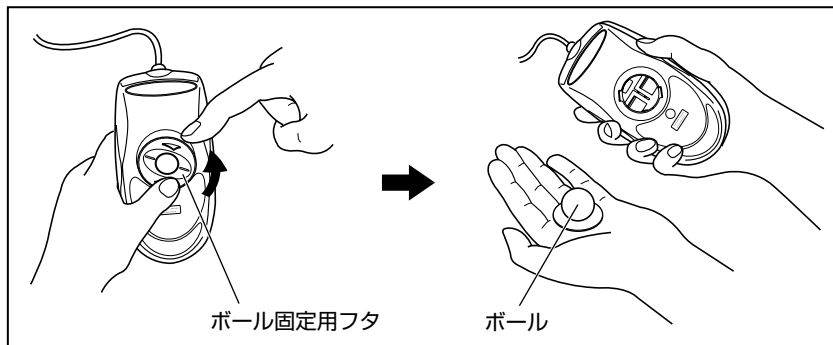
- ・スペアのアキュポイントキャップをお買い求めになる場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

マウス

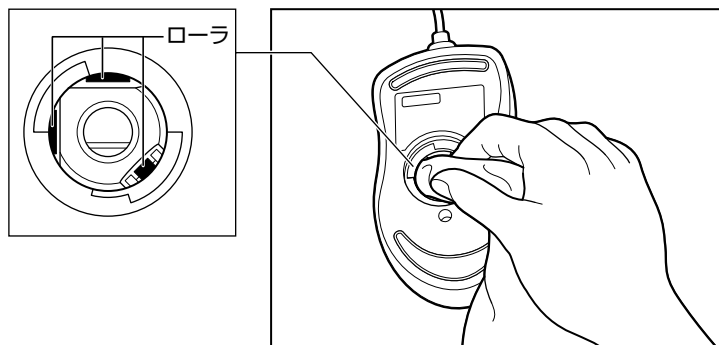
マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

- ①パソコン本体の電源を切ってください。
- ②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



- ③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



- ④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。
- ⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。
- ⑥ボール固定用のフタを、矢印方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

CD

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

本製品は次のような場合、スタンバイ機能、または休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響えいきょうを受けたとき
- 長時間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

7 章

ローマ字入力一覧表

文字入力の際に便利なローマ字とかなの対応表です。

1	ローマ字入力一覧表	140
----------	-----------------	-----

1

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のとおりです。
その他のつづりや、かなが()で表されている欄は、ヘボン式ではありませんが、一般的に使用されているものです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)
	xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	きゃ	(きい)	きゅ	(きえ)	きょ
	kya	kyi	kyu	kye	kyo
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
	しゃ	(しい)	しゅ	(しえ)	しょ
	sha sya	syi	shu syu	she sye	sho syo
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
			(っ)※1		
			xtu ltu		
	ちゃ	(ちい)	ちゅ	(ちえ)	ちょ
	cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
	(てゃ)	(てい)	(てゅ)	(てえ)	(てょ)
	tha	thi	thu	the	tho
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にゃ	(にい)	にゅ	(にえ)	にょ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
	ひゃ	(ひい)	ひゅ	(ひえ)	ひょ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	(ふぁ)	(ふい)		(ふえ)	(ふぉ)
	fa	fi		fe	fo
	(ふゃ)	(ふい)	(ふゅ)	(ふえ)	(ふょ)
	fya	fyi	fyu	fye	fyo
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みゃ	(みい)	みゅ	(みえ)	みょ
mya	myi	myu	mye	myo	
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
	(ゃ)		(ゅ)		(ょ)
	xya lya		xyu lyu		xyo lyo

※1 通常は後の子音を2つ
続けて入力します。
【例】「いった」→ itta

ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	(りい)	りゅ	(りえ)	りょ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	(ゐ) *2		(ゑ) *2	を
	wa	wi		we	wo
ん	ん				
	n *3 nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	ぎゃ	(ぎい)	ぎゅ	(ぎえ)	ぎょ
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
	じゃ	(じい)	じゅ	(じえ)	じょ
	ja zya	zyi	ju zyu	je zye	jo zyo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji di	zu du	de	do
	(ぢゃ)	(ぢい)	(ぢゅ)	(ぢえ)	(ぢょ)
	dya	dji	dju	dye	djo
	(でゃ)	(でい)	(でゅ)	(でえ)	(でょ)
	dha	dhi	dhu	dhe	dho
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	(びい)	びゅ	(びえ)	びょ
	bya	byi	byu	bye	byo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	(ぴい)	ぴゅ	(ぴえ)	ぴょ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴ *4	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	va	vi	vu	ve	vo
	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴユ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	vya	vji	vyu	vye	vyo


※2 キーボードで入力した後、変換してください。

※3 nに続けて子音(k, s, t, nなど)が入力されると「ん」になります。

※4 MS-IMEの場合、「ヴ」にひらがなはありません。ひらがな入力モードで入力したときはカタカナに変換する必要があります。

さくいん

記号

キーを使ったショートカットキー 109

A

AC アダプタ 16, 99
Alt キー 104, 105
Arrow Mode LED 102
ATOK 60
ATOK のオンラインヘルプ 81

B

BackSpace キー 105
Battery LED 101, 117
Break キー 105

C

CapsLock LED 102
CapsLock 英数キー 104
CD 92, 126
CD-ROM ドライブ 98
CD-ROM ドライブに関する表示 127
CD-ROM ドライブのお手入れ 135
CD 操作ボタン 86, 98
CD 電源スイッチ 86
CD のセット 128
CD の取り扱い 138
CD の取り出し 129
COMMS コネクタ 100
CRT ディスプレイ 93
Ctrl キー 104, 105

D

DC IN LED 34, 101
Del キー 105
Disk LED 101
DVD 93

E

End キー 105
Enter キー 105
Esc キー 104

F

FDD/CD-ROM LED 101, 122
Fn キー 104
Fn キーを使った特殊機能キー 108

H

Home キー 105

I

IME パッド 77
Ins キー 105

L

LED 17

M

MS-IME 60
MS-IME のオンラインヘルプ 81

N

Numeric Mode LED 103

O

OS 95

P

Pause キー 105
PC カードスロット 100
PgDn キー 105
PgUp キー 105
Power LED 34, 101
Product Key 18
PrtSc キー 105
PRT コネクタ 100
PS/2 コネクタ 31, 100
PS/2 マウス 99

R

RGB コネクタ 100

S

SD メモリカード 93
Shift キー 104, 105
Space キー 104
SysRq キー 105

T

Tab キー 104

U

USB コネクタ 100

W

Windows セットアップ	18
Windows の使いかた	26
Win キー	104

ア

アイコン	42
アキュポイントII	30, 94, 98
アキュポイントIIの使いかた	19
アキュポイントIIの取り扱い	135
アドレスバー	43
アプリケーション	95
アプリケーションキー	105
アロー状態	102

イ

インスタントセキュリティ機能	108
インストール	95
インターネットボタン	98, 131

ウ

ウィンドウ	43
ウィンドウ説明	43

エ

英数字を入力する	71
液晶ディスプレイ	93
液晶ディスプレイの取り扱い	135

オ

オーバーレイキー	105
大文字ロック状態	102
音楽を聴く	86
オペレーティングシステム	95
音楽CDを再生する	88
音楽／音声の録音レベルを調整する	114
音楽ファイルを再生する	89

カ

書き込み可能状態	124
書き込み禁止状態	124
確定	46
カタカナ ひらがなキー	105
カタカナを入力する	69
画面の手入れ	135

漢字キー	104
漢字番号キー	104

キ

キーシフトインジケータ	98, 101
キーボード	94, 98, 104
キーボードの取り扱い	134
記憶装置	92
記号を入力する	70
休止状態	38

ク

クイック起動ボタン	42
クリック	30

コ

ごみ箱	42, 52
コントロールボタン	30, 94, 99

サ

再起動	39
最小化ボタン	43
最大化ボタン	43
サイドライト用FL管	135
サウンド機能	112

シ

システムインジケータ	98, 101
システムスピーカ	114
使用できるCD	127
消耗品	134

ス

数字ロック状態	103
スクロールバー	43
スクロールボタン	30, 99
スクロールロック状態	108
[スタート] ボタン	42
スタンバイ機能	37
ステータスバー	43
スピーカ	98
スピーカの音量を調整する	112
スマートメディア	93

セ

セキュリティロック・スロット	99
全候補キー	105
前候補 変換キー	105

ソ

増設メモリスロット	100
ソフトウェア	95

タ

タイトルバー	43
タスクバー	42
ダブルクリック	30

ツ

ツールバー	43
通風口	99

テ

データのバックアップについて	138
ディザリング	110
ディスプレイ	98, 110
ディスプレイ開閉ラッチ	17, 98
デスクトップ	42
電源コード	16, 99
電源コードの取り扱い	134
電源コネクタ	99
電源スイッチ	34, 98
電源スイッチロック	34, 98
電源に関する表示	34
電源を入れる	18
電源を切る	36

ト

特殊機能キー	109
時計用バッテリー	118
閉じるボタン	43
ドラッグアンドドロップ	30

ナ

内蔵	92
----------	----

ニ

日本語入力システム	60
日本語入力システムツールバー	42

日本語入力システムの切り替え方法	81
入力装置	94
入力に関する制御キー	107
入力モードを決める	62

ハ

ハードウェア	92
ハードディスクドライブ	92, 111
ハードディスクドライブに関する表示	111
ハウリング	112
パソコン本体の取り扱い	133
パソコンを設置する環境	15
パソコンを使うときの姿勢	15
バッテリー	115
バッテリー駆動での使用時間	119
バッテリー充電量の減少	118
バッテリー充電量を確認する	117
バッテリーの充電時間	119
バッテリーパック	100
バッテリーパックの取りはずし／取り付け	120
バッテリーを充電する	118
バッテリーを節約する	119
パネルスイッチ機能	40
半角／全角	60
半／全キー	104

ヒ

ビデオ出力ケーブル	99
ビデオ出力端子	100
表示装置	93
ひらがなを漢字に変換する	68
ひらがなを入力する	67

フ

ファイル	44
ファイルに名前を付ける	49
ファイルをコピーする	50
ファイルを削除する	52
ファイルを作る	47
ファンクションキー	104
フォルダ	44
フォルダに名前を付ける	49
フォルダをコピーする	50
フォルダを削除する	52
フォルダを作る	44

フロッピーディスク	92, 122
フロッピーディスクドライブ	98, 123
フロッピーディスクドライブに関する表示..	122
フロッピーディスクドライブのお手入れ.....	135
フロッピーディスクの種類とその容量	122
フロッピーディスクのセット	123
フロッピーディスクの取り扱い	137
フロッピーディスクの取り出し	123
フロッピーディスクの内容を見る	123
フロッピーディスクのフォーマット	124
文書を保存する	82

へ

ヘッドホン出力端子	100
変換の区切りを変える	73

ホ

ボリュームコントロール.....	113
ボリュームダイヤル	99, 112

マ

マイ コンピュータ	42
マイ ドキュメント	42
マイク入力端子	100
マウス	94
マウスのお手入れ	136
マウスの使いかた	32
マウスポインタ	30
マウスを取り付ける	31

ミ

右クリック	30
-------------	----

メ

メールソフトの設定方法.....	132
メール着信ランプ	98
メールボタン	98, 132
メニューバー	43
メモ帳	58
メモリカード	93

モ

文字キー	59
文字パレット	79
モジュラーケーブル	99

モジュラージャック	99
文字を削除する	72
文字を入力する	60
元のサイズに戻すボタン	43

ヤ

矢印キー	105
------------	-----

ユ

ユーザ登録をする	27
----------------	----

ヨ

読みかたがわからない文字を入力する	77
-------------------------	----

ラ

ライトプロテクトタブ	124
------------------	-----

リ

リセットスイッチ	98
リリース情報	1

ロ

ローマ字キー	105
ローマ字入力一覧表	140

